

点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)	径間番号	1
---	------	---

起点側	緯度	35° 25' 9.191"	終点側	緯度	35° 25' 9.109"	橋梁ID	
	経度	136° 12' 33.506"		経度	136° 12' 33.255"		

フリガナ 橋梁名	ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)		路線名	下益田中心線		管轄		橋梁コード	250006119
所在地	自	長浜市益田町	距離標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町		至				最新点検年月日	2016年12月28日

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分								健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性			
						区分Bの損傷	区分Cの損傷		区分Mの損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷		
							区分C1の損傷	区分C2の損傷		区分E1の損傷	区分E2の損傷				
B	X	支承本体	Bh	e	e		変色・劣化							Ⅱ	材料劣化によるゴム支承の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
B	S	アンカーボルト	Ba	e	e			腐食						Ⅲ	経年劣化による腐食が見られる。橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修を行う必要がある。
B	S	アンカーボルト	Ba	e	e			防食機能の劣化						Ⅲ	経年劣化による防食機能の劣化が見られる。橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修を行う必要がある。
R	S	防護柵	Gf	b	b	腐食								I	経年劣化による腐食が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。
R	S	防護柵	Gf	e	e	防食機能の劣化								I	経年劣化による防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25′ 9.19″	
				経度	136° 12′ 33.51″	
無名橋(3025) (フリガナ)ムメイハシ(3025)	下益田中心線	長浜市益田町				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2016.12.16	開水路:水路	有	一般道	その他	なし

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者		点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食、防食機能の劣化	写真1-主桁00			
	横桁	Ⅱ	腐食、防食機能の劣化	写真2-横桁00			
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	腐食、防食機能の劣化	写真3-支承本体00 写真4-アンカーボルト0302			
その他		Ⅱ	路面の凹凸	写真5,6-舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		措置後に記録
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)
Ⅱ	主桁・横桁全体に腐食、支承本体・アンカーボルトにも腐食が見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましいと判断し、健全度Ⅱとする。	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	6.3m	3.40m

ファイル名:【拡幅部】28長浜市187-1無名橋(3025)

側面図

平面図

断面図

起点





終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。



状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真1 主桁Mg00 腐食、 防食機能の 劣化</p> 	<p>写真2 横桁Cr00 腐食、 防食機能の 劣化</p> 
支承部(支承本体)【判定区分: Ⅱ】	支承部(アンカーボルト)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真3 支承本体 Bh00 腐食、 防食機能の 劣化</p> 	<p>写真4 アンカーボルト Ba 腐食、 防食機能の 劣化</p> 

状況写真(損傷状況)  
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。  
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

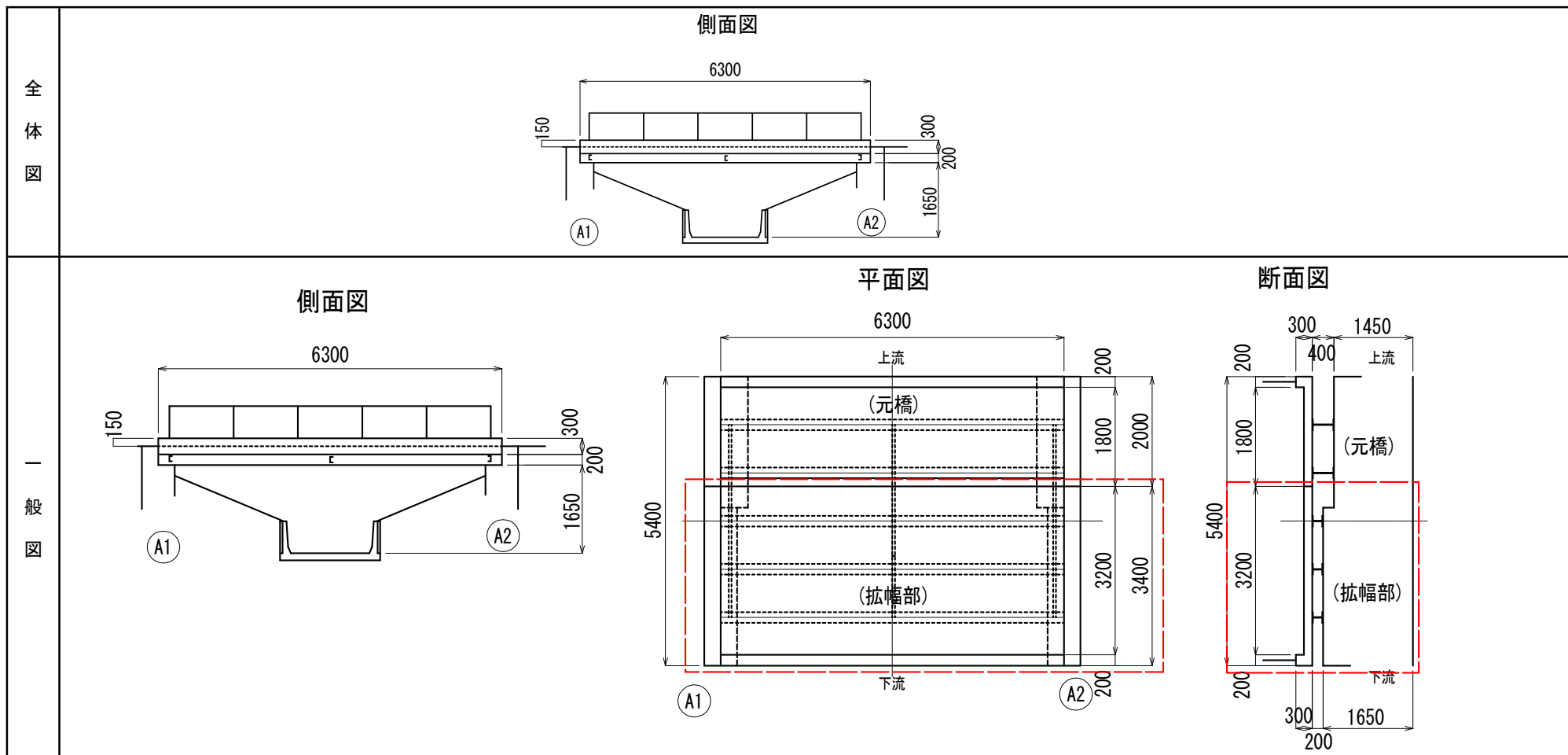
その他(舗装)【判定区分：Ⅱ】		その他(舗装)【判定区分：Ⅱ】	
<div>写真5 舗装Pm01 路面の凹凸</div> 		<div>写真6 舗装Pm01 路面の凹凸 写真5の近景</div> 	
【判定区分：】		【判定区分：】	

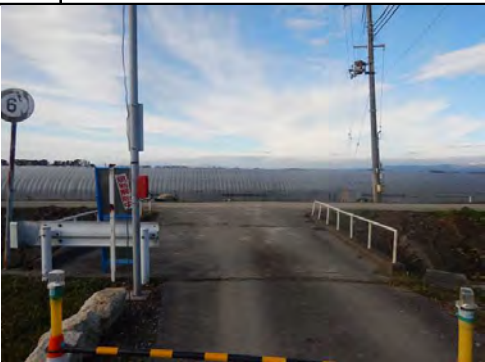



点検調査(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果										起点側		緯度		35° 25' 9.191"		終点側		緯度		35° 25' 9.109"		橋梁ID			
		経度		136° 12' 33.506"				経度		136° 12' 33.255"															
フリガナ	ムメイハン(3025)			路線名	下益田中心線									橋梁コード		250006119									
橋梁名	無名橋(3025)																								
所在地	自	長浜市益田町			距離標	自				管轄			調書更新年月日		2017年2月28日										
	至	長浜市益田町				至							最新点検年月日		2016年12月16日										
供用開始日	不明(昭和50年代)		橋長	6.3m		活荷重・等級	-		適用示方書	昭和53年 道路橋示方書(※)						調査年									
上部構造形式	鋼橋_H形鋼			幅員	全幅員	3.40m		地覆幅	歩道幅		車道幅・車線	車道幅・車線		歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	交通条件	交通量	台					
					有効幅員	3.20m					3.20m	1			0.20m					昼間12時間					
下部構造形式	その他(橋台)2橋			備考	拡幅部														大型混入率	%					
基礎形式	杭基礎(杭種不明)																		荷重制限	t					
総合検査結果																									
	健全度 (橋単位)		Ⅱ																						
	【橋梁の特徴】																								
	・拡幅部の供用開始年は、昭和50年代と推測し、建設後36年程度が経過した鋼橋_H型鋼である。																								
	【損傷の総合評価】																								
・上部工:主桁・横桁全体に腐食・防食機能の劣化、床版の一部に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。																									
・下部工:縦壁の一部に漏水、支承本体・アンカーボルトに腐食・防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。																									
・橋面工:舗装に路面の凹凸が見られる。維持工事で補修を行う必要がある。 伸縮部に緩衝材の欠落、防護柵・排水管に腐食・防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。																									
【健全度の診断】																									
・主桁・横桁全体に腐食、支承本体・アンカーボルトにも腐食が見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましいと判断し、健全度Ⅱとする。																									

点検調書(その2) 径間別一般図			径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 25′ 9.191″		終点側		緯度		35° 25′ 9.109″		橋梁ID			
									経度		136° 12′ 33.506″				経度		136° 12′ 33.255″					



フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)		路 線 名		下益田中心線		管 轄				橋梁コード		250006119	
所 在 地	自	長浜市益田町		距 離 標	自							調書更新年月日		2017年2月28日	
	至	長浜市益田町			至										



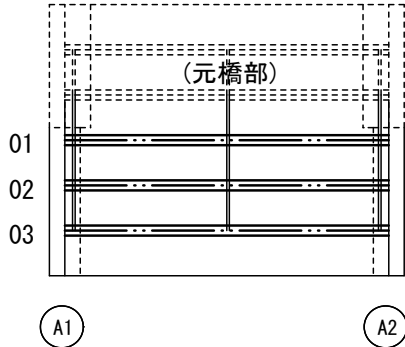
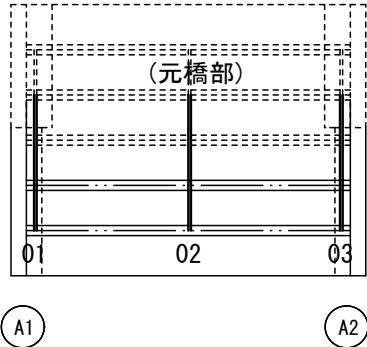
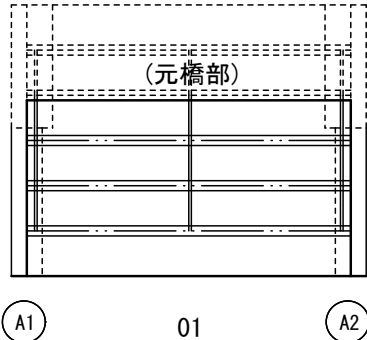
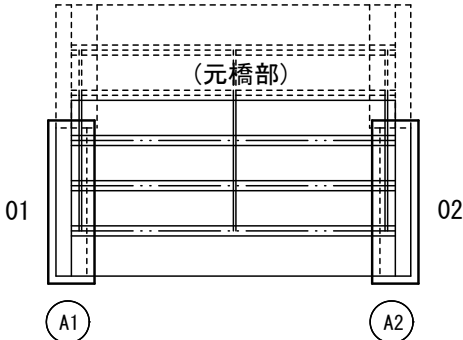
点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側 緯度 35° 25' 9.191" 経度 136° 12' 33.506"		終点側 緯度 35° 25' 9.109" 経度 136° 12' 33.255"		橋梁ID									
フリガナ 橋梁名			ムメイハン(3025) 無名橋(3025)			路線名		下益田中心線			管轄		橋梁コード		250006119					
所在地			自 長浜市益田町			距離標		自			管轄		調書更新年月日		2017年2月28日					
			至 長浜市益田町					至												
現 地 状 況 写 真	写真番号		1			撮影年月日		2016.12.16			写真番号		2			撮影年月日		2016.12.16		
	径間番号		1					メ モ			径間番号		1					メ モ		
	写真説明		正面					起点より終点を望む			写真説明		正面					終点より起点を望む		
																				
	写真番号		3			撮影年月日		2016.12.16			写真番号		4			撮影年月日		2016.12.16		
	径間番号		1					メ モ			径間番号		1					メ モ		
	写真説明		側面					上流側より撮影			写真説明		側面					下流側より撮影		
																				

点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側 緯度 35° 25' 9.191" 経度 136° 12' 33.506"		終点側 緯度 35° 25' 9.109" 経度 136° 12' 33.255"		橋梁ID						
フリガナ 橋梁名		ムメイハン(3025) 無名橋(3025)		路線名		下益田中心線		管轄				橋梁コード		250006119			
所在地		自 長浜市益田町		距離標		自								調書更新年月日		2017年2月28日	
		至 長浜市益田町				至											
現 地 状 況 写 真	写真番号		5		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		6		撮影年月日		2016.12.16		
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ		
	写真説明		桁下		下流側より撮影				写真説明		横桁		下流側より撮影				
																	
	写真番号		7		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		8		撮影年月日		2016.12.16		
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ		
	写真説明		下部工(縦壁)01		下流側より撮影				写真説明		下部工(縦壁)02		下流側より撮影				
																	

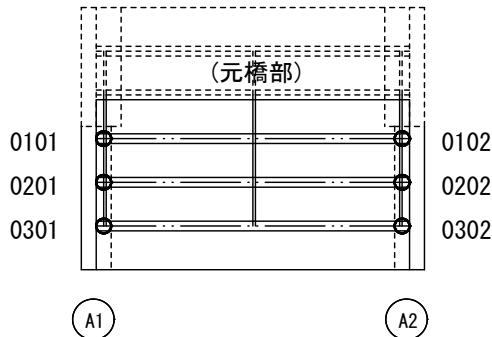
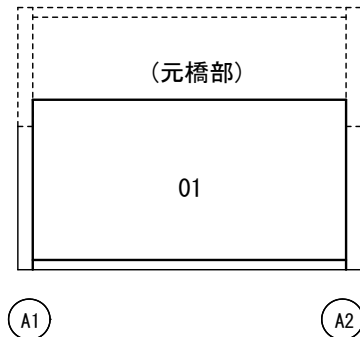
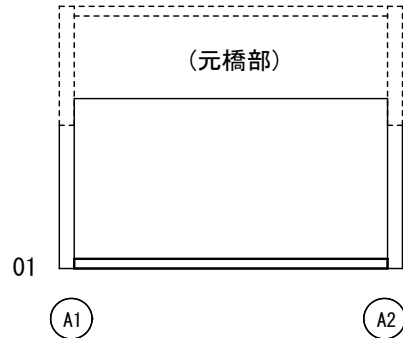
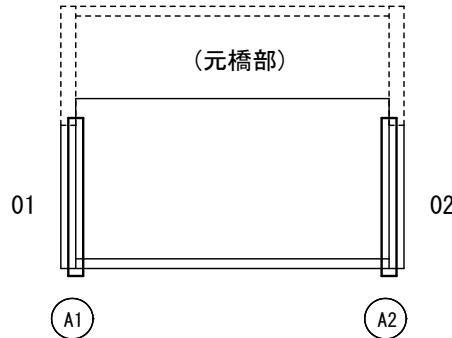


点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側 緯度 35° 25' 9.191" 経度 136° 12' 33.506"		終点側 緯度 35° 25' 9.109" 経度 136° 12' 33.255"		橋梁ID									
フリガナ 橋梁名			ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)			路線名		下益田中心線			管轄		橋梁コード		250006119					
所在地			自 長浜市益田町			距離標		自			管轄		調書更新年月日		2017年2月28日					
			至 長浜市益田町					至												
現 地 状 況 写 真	写真番号		9			撮影年月日		2016.12.16			写真番号		10			撮影年月日		2016.12.16		
	径間番号		1			メ		モ			径間番号		1			メ		モ		
	写真説明		支承			A1橋台上		写真説明		支承			A2橋台上							
																				
	写真番号					撮影年月日					写真番号					撮影年月日				
	径間番号					メ		モ			径間番号					メ		モ		
	写真説明							写真説明												

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図			径 間 番 号	1	起点側		緯度 経度	35° 25' 9.191" 136° 12' 33.506"	終点側		緯度 経度	35° 25' 9.109" 136° 12' 33.255"	橋梁ID	
フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)		路 線 名	下益田中心線		管 轄			橋梁コード		250006119			
所 在 地	自	長浜市益田町	距 離 標	自					調書更新年月日		2017年2月28日			
	至	長浜市益田町		至										

要素番号図及び部材番号図	【部材番号】	
	主桁 (Mg)	横桁 (Cr)
		
	床版 (Ds)	橋台 (Ac)
		

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図			径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 25′ 9.191″		終点側		緯度		35° 25′ 9.109″		橋梁ID			
									経度		136° 12′ 33.506″				経度		136° 12′ 33.255″					
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)			路 線 名		下益田中心線			管 轄					橋 梁コード		250006119					
所 在 地		自 長浜市益田町			距 離 標		自								調書更新年月日			2017年2月28日				
		至 長浜市益田町					至															

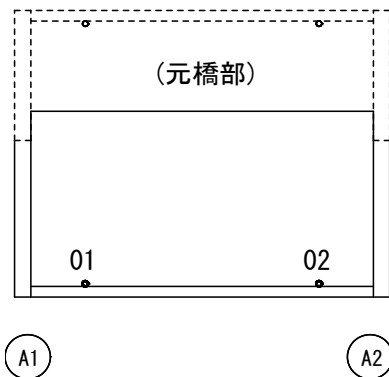
要素番号図及び部材番号図	【部材番号】		支承 (Bh, Ba)		舗装 (Pm)	
						
	防護柵 (Gf), 地覆 (Fg)		伸縮装置 (Ej)			
						

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 25′ 9.191″	終点側	緯度	35° 25′ 9.109″	橋梁ID	
				経度	136° 12′ 33.506″		経度	136° 12′ 33.255″		

フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)		路 線 名	下益田中心線		管 轄			橋梁コード	250006119	
所 在 地	自	長浜市益田町		距 離 標	自					調書更新年月日	2017年2月28日	
	至	長浜市益田町			至							

【部材番号】

排水施設 (Dp)



要素番号図及び部材番号図



点検調書(その5) 損傷図			径 間 番 号		1		起 点 側		緯 度		35° 25' 9.191"		終 点 側		緯 度		35° 25' 9.109"		橋 梁 ID			
									経 度		136° 12' 33.506"				経 度		136° 12' 33.255"					
フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名	下益田中心線			管 轄				橋 梁 コー ド			250006119						
所 在 地	自	長浜市益田町			距 離 標	自							調書更新年月日			2017年2月28日						
	至	長浜市益田町				至							最新点検年月日			2016年12月16日						

損傷図

【桁下】

主桁 Mg01 ①腐食 小・大-c  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号1

主桁 Mg02, 03 ①腐食 小・大-c  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号2

排水管 Dp01 ①腐食 小・小-b  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号19

上流

下流

横桁 Cr01~03 ①腐食 小・大-c  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号3

床版 Ds01 ⑦剥離・鉄筋露出-d  
[幅200mm/長さ100mm]  
[幅200mm/長さ100mm]  
[幅150mm/長さ100mm]  
写真番号4

排水管 Dp02 ①腐食 小・小-b  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号20

A1

A2

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		欠損	
鉄筋露出		その他			

点検調書(その5) 損傷図			径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 25' 9.191"		終点側		緯度		35° 25' 9.109"		橋梁ID			
									経度		136° 12' 33.506"				経度		136° 12' 33.255"					
フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名	下益田中心線			管 轄					橋梁コード		250006119						
所 在 地	自	長浜市益田町			距 離 標	自								調書更新年月日		2017年2月28日						
	至	長浜市益田町				至								最新点検年月日		2016年12月16日						

【A1橋台】

※支承本体Bh0102・Bh0202・Bh0302  
についても同様の損傷を示す。

支承本体 Bh0201

①腐食 小・大-c

⑤防食機能の劣化1-e

写真番号10

支承本体 Bh0301

①腐食 小・大-c

⑤防食機能の劣化1-e

写真番号11

下流

下部工(堅壁) Ac01 ㊟洗堀-c  
[奥行600mm/長さ1700mm]

写真番号6, 7

下部工(堅壁) Ac01 ㊟漏水・滞水-e

写真番号5

上流

支承本体 Bh0101

①腐食 小・大-c

⑤防食機能の劣化1-e

写真番号9

【A2橋台】

※アンカーボルトBa0101・Ba0201・Ba0301  
についても同様の損傷を示す。

アンカーボルト Ba0102

①腐食 小・大-c

⑤防食機能の劣化1-e

写真番号12

アンカーボルト Ba0202

①腐食 小・大-c

⑤防食機能の劣化1-e

写真番号13

アンカーボルト Ba0302

①腐食 小・大-c

⑤防食機能の劣化1-e

写真番号14

下流

下部工(堅壁) Ac02 ㊟漏水・滞水-e

写真番号8

上流

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		欠損	
鉄筋露出		その他			

点検調書(その5) 損傷図			径間番号	1		起点側	緯度	35° 25' 9.191"	終点側	緯度	35° 25' 9.109"	橋梁ID	
							経度	136° 12' 33.506"		経度	136° 12' 33.255"		
フリガナ 橋梁名	ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)		路線名	下益田中心線		管轄			橋梁コード		250006119		
所在地	自	長浜市益田町	距離標	自					調書更新年月日		2017年2月28日		
	至	長浜市益田町		至					最新点検年月日		2016年12月16日		

損 傷 図	<div style="font-weight: bold; font-size: 1.2em;">【橋面】</div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> </div>	

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		欠損	
鉄筋露出		その他			


点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25' 9.191"		終点側		緯度 35° 25' 9.109"		橋梁ID					
								経度 136° 12' 33.506"				経度 136° 12' 33.255"									
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名		下益田中心線						橋梁コード				250006119			
所 在 地		自		長浜市益田町				距 離 標		自						管 轄		調書更新年月日		2017年2月28日	
		至		長浜市益田町						至								最新点検年月日		2016年12月16日	

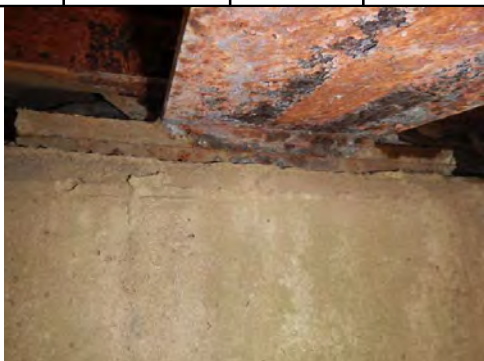


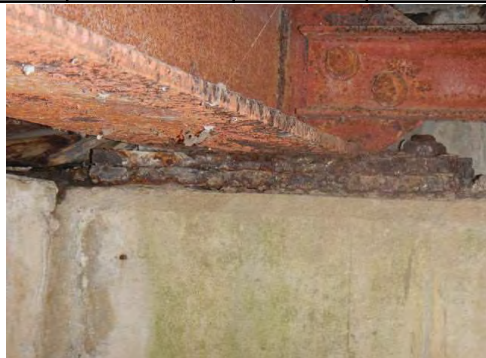
損 傷 写 真	写真番号		1		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		2		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		02・03		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。			
							損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1										損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1							
	写真番号		3		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		4		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
	部材名		横桁		部材番号		01～03		メ		モ		部材名		床版		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		d		支点部付近に鉄筋露出が見られる。 鉄筋の腐食は軽微である。			
							損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1										・幅 200mm ・長さ 100mm ・幅 200mm ・長さ 100mm ・幅 150mm ・長さ 100mm							







点検調書(その6) 損傷写真				径間番号		1		起点側 緯度 35° 25' 9.191" 経度 136° 12' 33.506"		終点側 緯度 35° 25' 9.109" 経度 136° 12' 33.255"		橋梁ID			
フリガナ 橋梁名		ムメイハン(3025) 無名橋(3025)				路線名		下益田中心線				橋梁コード		250006119	
所在地		自 長浜市益田町				距離標		自		管轄		調書更新年月日		2017年2月28日	
		至 長浜市益田町						至				最新点検年月日		2016年12月16日	

損 傷 写 真	写真番号	5	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.16	写真番号	6	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.16
	部材名	下部工(縦壁)	部材番号	01	メ モ		部材名	下部工(縦壁)	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e	伸縮部からの漏水が見られる。 (水路工事中)		損傷の種類	洗掘	損傷程度	c	橋台下流側に洗掘による基礎コンクリート杭の露出が見られる。  ・奥行 600mm ・長さ 1700mm	
												
	写真番号	7	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.16	写真番号	8	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.16
	部材名	下部工(縦壁)	部材番号	01	メ モ		部材名	下部工(縦壁)	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	洗掘	損傷程度	c	写真番号6の近景 ・奥行 600mm ・長さ 1700mm		損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e	伸縮部からの漏水が見られる。 (洗掘は、見られない。)	
												

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25′ 9.191″ 経度 136° 12′ 33.506″		終点側		緯度 35° 25′ 9.109″ 経度 136° 12′ 33.255″		橋梁ID								
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名		下益田中心線				管 轄		橋梁コード				250006119						
所 在 地		自 長浜市益田町				距 離 標		自		調書更新年月日								2017年2月28日						
		至 長浜市益田町						至										最新点検年月日		2016年12月16日				
損 傷 写 真	写真番号		9		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		10		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
	部材名		支承本体		部材番号		0101		メ		モ		部材名		支承本体		部材番号		0201		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。			
			損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1						損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1															
	写真番号		11		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		12		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
	部材名		支承本体		部材番号		0301		メ		モ		部材名		アンカーボルト		部材番号		0102		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。			
		損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1						損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1																



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25′ 9.191″ 経度 136° 12′ 33.506″		終点側		緯度 35° 25′ 9.109″ 経度 136° 12′ 33.255″		橋梁ID								
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名		下益田中心線				管 轄		橋梁コード				250006119						
所 在 地		自 長浜市益田町				距 離 標		自		調書更新年月日								2017年2月28日						
		至 長浜市益田町						至										最新点検年月日		2016年12月16日				
損 傷 写 真	写真番号		13		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		14		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
	部材名		アンカーボルト		部材番号		0202		メ      モ				部材名		アンカーボルト		部材番号		0302		メ      モ			
	損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		c		部材全体に発錆が見られる。			
					損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1								損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1											
	写真番号		15		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		16		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
	部材名		舗装		部材番号		01		メ      モ				部材名		舗装		部材番号		01		メ      モ			
	損傷の種類		路面の凹凸		損傷程度		e		起点側伸縮部に路面の凹凸が見られる。  ・段差 30mm(20mm以上) ・長さ 3200mm				損傷の種類		路面の凹凸		損傷程度		e		写真番号15の近景  ・段差 30mm(20mm以上) ・長さ 3200mm			
																								

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 25′ 9.191″		終点側		緯度		35° 25′ 9.109″		橋梁ID					
		経度		136° 12′ 33.506″						経度		136° 12′ 33.255″													
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名		下益田中心線				管 轄						橋梁コード		250006119					
所 在 地		自		長浜市益田町		距 離 標		自										調書更新年月日		2017年2月28日					
		至		長浜市益田町				至										最新点検年月日		2016年12月16日					
損 傷 写 真		写真番号		17		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		18		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
		部材名		防護柵		部材番号		01		メ		モ		部材名		伸縮装置		部材番号		01		メ		モ	
		損傷の種類		腐食		損傷程度		b		経年劣化による腐食が見られる。				損傷の種類		その他		損傷程度		e		起点伸縮部に経年劣化による緩衝材の欠落が見られる。			
								損傷程度 b 損傷の深さ(小) 損傷の面積(小)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1								その他(緩衝材の欠落) 分類6									
		写真番号		19		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16		写真番号		20		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.16	
		部材名		排水管		部材番号		01		メ		モ		部材名		排水管		部材番号		02		メ		モ	
		損傷の種類		腐食		損傷程度		b		該当部材全体に発錆が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		b		該当部材全体に発錆が見られる。			
								損傷程度 b 損傷の深さ(小) 損傷の面積(小)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1								損傷程度 b 損傷の深さ(小) 損傷の面積(小)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1									



点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括					径 間 番 号		1		起点側		緯度35° 25′ 9.191″ 経度136° 12′ 33.506″		終点側		緯度35° 25′ 9.109″ 経度136° 12′ 33.255″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名		下益田中心線			管 轄					橋 梁 コー ド		250006119		
所 在 地		自		長浜市益田町			距 離 標		自							調書更新年月日		2017年2月28日		
		至		長浜市益田町					至							最新点検年月日		2016年12月16日		
工 種	材 料	部材種別				今回定期点検			点検日		2016年12月28日			前回定期点検			点検日		年 月 日	
		名 称		記号	部材番号	損傷の種類(程度)						損傷の種類(程度)								
S	S	主桁		Mg	01	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
S	S	主桁		Mg	02	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
S	S	主桁		Mg	03	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁		Cr	01	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁		Cr	02	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
S	S	横桁		Cr	03	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
S	C	床版		Ds	01	剥離・鉄筋露出(d)														
A	C	下部工(縦壁)		Ac	01	漏水・滞水(e),洗掘(c)														
A	C	下部工(縦壁)		Ac	02	漏水・滞水(e)														
B	X	支承本体		Bh	00	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
B	S	アンカーボルト		Ba	00	腐食(c),防食機能の劣化(e)														
R	C	舗装		Pm	01	路面の凹凸(e)														
R	S	防護柵		Gf	01	腐食(b),防食機能の劣化(e)														
R	X	伸縮装置		Ej	01	その他(緩衝材の欠落)(e)														
D	S	排水管		Dp	00	腐食(b),防食機能の劣化(e)														

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)			径間番号	1	起点側	緯度	35° 25' 9.191"	終点側	緯度	35° 25' 9.109"	橋梁ID	
						経度	136° 12' 33.506"		経度	136° 12' 33.255"		

フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)			路 線 名	下益田中心線		管 轄		橋梁コード	250006119
所 在 地	自	長浜市益田町		距 離 標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町			至				最新点検年月日	2016年12月16日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見	
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性						
							区分B の損傷	区分Cの損傷				区分M の損傷	区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定			推定
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新			区分E1 の損傷	更新	区分E2 の損傷						
S	S	主桁	Mg	01	c	c		腐食											⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる発錆が全体に発生している。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	主桁	Mg	01	e	e		防食機能の劣化											⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	主桁	Mg	02	c	c		腐食											⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる発錆が全体に発生している。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	主桁	Mg	02	e	e		防食機能の劣化											⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	主桁	Mg	03	c	c		腐食											⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる発錆が全体に発生している。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	主桁	Mg	03	e	e		防食機能の劣化											⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	横桁	Cr	01	c	c		腐食											⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる発錆が全体に発生している。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25′ 9.191″ 経度 136° 12′ 33.506″		終点側		緯度 35° 25′ 9.109″ 経度 136° 12′ 33.255″		橋梁ID						
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名		下益田中心線			管 轄						橋梁コード		250006119			
所 在 地		自		長浜市益田町		距 離 標		自									調査更新年月日		2017年2月28日			
		至		長浜市益田町				至												最新点検年月日		2016年12月16日
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原 因					健全度 (部材単位)	所 見	
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性								
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確 定	推 定					
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更 新	区分E1 の損傷					更 新				
S	S	横桁	Cr	01	e	e		防食機能の劣化									⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。			
S	S	横桁	Cr	02	c	c		腐食									⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる発錆が全体に発生している。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。			
S	S	横桁	Cr	02	e	e		防食機能の劣化									⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。			
S	S	横桁	Cr	03	c	c		腐食									⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる発錆が全体に発生している。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。			
S	S	横桁	Cr	03	e	e		防食機能の劣化									⑥材料劣化	Ⅱ	材料劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。			
S	C	床版	Ds	01	d	d	剥離・鉄筋露出										⑦その他(製作・施工不良)・エ	I	かぶり不足による鉄筋露出が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。			
A	C	下部工(縦壁)	Ac	01	e	e	漏水・滞水										⑦その他(品質の経年劣化・ウ)	I	伸縮部の劣化による漏水が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。			
A	C	下部工(縦壁)	Ac	01	c	c	洗掘										⑦その他(環境に起因・イ)	I	流水による洗掘が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。			

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)	径間番号	1	起点側	緯度	35° 25' 9.191"	終点側	緯度	35° 25' 9.109"	橋梁ID
				経度	136° 12' 33.506"		経度	136° 12' 33.255"	

フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)		路 線 名	下益田中心線		管 轄		橋梁コード	250006119
所 在 地	自	長浜市益田町	距 離 標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町		至				最新点検年月日	2016年12月16日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性					
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷		区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確定	推定		
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷	更新						
A	C	下部工 (堅壁)	Ac	02	e	e	漏水・滞 水											⑦その他 (品質の経 年劣化・ウ)	I	伸縮部の劣化による漏水が見ら れる。状況に応じて措置を講ず る事が望ましい。

点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)						径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 25′ 9.191″	終点側		緯度	35° 25′ 9.109″	橋梁ID	
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3025) 無名橋(3025)				路 線 名		下益田中心線			管 轄					橋梁コード		250006119	
所 在 地	自	長浜市益田町				距 離 標	自									調書更新年月日		2017年2月28日	
	至	長浜市益田町					至									最新点検年月日		2016年12月16日	

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分								健全度 (部材単位)	所 見	
		名称	記号	最大	最小	補修等の必要性		維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性					
						区分Bの損傷	区分Cの損傷		区分Mの損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷			
							区分C1の損傷			区分C2の損傷	区分E1の損傷					区分E2の損傷
B	X	支承本体	Bh	c	c		腐食							II	経年劣化が原因と思われる発錆が全体に見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
B	X	支承本体	Bh	e	e		防食機能の劣化							II	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
B	S	アンカーボルト	Ba	c	c		腐食							II	経年劣化が原因と思われる発錆が全体に見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
B	S	アンカーボルト	Ba	e	e		防食機能の劣化							II	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
R	C	舗装	Pm	e	e				路面の凹凸					II	路面に凹凸が生じており20mm以上の段差が見られる。維持工事で補修を行う必要がある。	
R	S	防護柵	Gf	b	b	腐食								I	経年劣化による腐食が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
R	S	防護柵	Gf	e	e	防食機能の劣化								I	経年劣化による防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
R	X	伸縮装置	Ej	e	e	その他(遊間の異常)								I	経年劣化が原因と思われるパラペット部の緩衝材の欠落が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
D	S	排水管	Dp	b	b	腐食								I	経年劣化による腐食が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
D	S	排水管	Dp	e	e	防食機能の劣化								I	経年劣化による防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	



橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 25' 9.19"	136° 12' 33.51"
無名橋(3025) (フリガナ)ムメイハシ(3025)	下益田中心線	長浜市益田町				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2016.12.28	開水路:水路	有	一般道	その他	なし

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者		点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	全体の腐食・防食機能の劣化	写真1,2-主桁01・02 写真3-主桁00			
	横桁	Ⅱ	全体の腐食・防食機能の劣化	写真4-横桁01～03 写真5-横桁00			
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅲ	元橋部の変色・劣化、 全体の腐食・防食機能の劣化	写真6・8-支承本体00 写真7・9-アンカーボルト00			
その他		Ⅱ	拡幅部の路面の凹凸	写真10、11-舗装01			

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	元橋部の主桁端部に板厚減少を伴う腐食、横桁・支承本体・アンカーボルトに腐食が見られる。また、拡幅部は、主桁・横桁全体に腐食が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべきと判断し、健全度Ⅲとする。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	ファイル名:【総括調書】28長浜市187-A無名橋(3025)
元橋部 不明	6.3m	2.00m	ファイル名:【元橋部】28長浜市187-0無名橋(3025)
拡幅部 不明	6.3m	3.40m	ファイル名:【拡幅部】28長浜市187-1無名橋(3025)
		全幅員 5.40m	

側面図





平面図

断面図

起点 終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)  
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。  
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】
<p data-bbox="159 496 293 644">写真1 主桁Mg01 腐食・防食 機能の劣化 (元橋部)</p> 	<p data-bbox="1131 496 1265 644">写真2 主桁Mg02 腐食・防食 機能の劣化 (元橋部)</p> 
上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】
<p data-bbox="159 1102 293 1251">写真3 主桁Mg00 腐食・防食 機能の劣化 (拡幅部)</p> 	<p data-bbox="1131 1086 1265 1267">写真4 横桁Cr 01~03 腐食・防食 機能の劣化 (元橋部)</p> 






状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】	支承部(支承本体)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真5 横桁Cr00 腐食・防食 機能の劣化 (拡幅部)</p> 	<p>写真6 支承本体 Bh00 変色・劣化 (元橋部)</p> 
支承部(支承本体)【判定区分: Ⅱ】	その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真7 アンカーボルト Ba01 腐食・防食 機能の劣化 (元橋部)</p> 	<p>写真8 支承本体 Bh0102 腐食・防食 機能の劣化 (拡幅部)</p> 

状況写真(損傷状況)  
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。  
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部(支承本体)【判定区分: Ⅱ】	その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】
<p data-bbox="159 480 322 660">写真9 アンカーボルト Ba00 腐食・防食 機能の劣化 (拡幅部)</p> 	<p data-bbox="1131 512 1267 628">写真10 舗装Pm01 路面の凹凸 (拡幅部)</p> 
その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】	【判定区分: 】
<p data-bbox="159 1102 322 1251">写真11 舗装Pm01 路面の凹凸 写真10の近景 (拡幅部)</p> 	



橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 25′ 3.72″	
				経度	136° 12′ 13.86″	
無名橋(3029) (フリガナ)ムメイハシ(3029)	益田湖岸線	長浜市益田町・早崎町				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2016.12.8	開水路:水路	有	一般道	その他	なし

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者		点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	腐食・防食機能の劣化	写真1・2-主桁01・02			
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅲ	腐食・防食機能の劣化	写真3～6-支承本体0101～0202・ アンカーボルト0101～0202			
その他		Ⅱ	変形・欠損・土砂詰まり	写真7-伸縮装置01・写真8-舗装01 写真9-防護柵01			

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	主桁に局所的な板厚減少を伴う腐食・防食機能の劣化、支承全体に板厚減少を伴う腐食・防食機能の劣化が見られる。伸縮装置にも欠損が見られ道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度Ⅲとする。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	7.4m	5.10m
<div>起点</div> <div></div> <div>終点</div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。



## 状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】	上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】
<p>写真1 主桁Mg01 腐食 防食機能の劣化</p> 	<p>写真2 主桁Mg02 腐食 防食機能の劣化</p> 
支承部(支承本体・アンカーボルト)【判定区分: Ⅲ】	支承部(支承本体・アンカーボルト)【判定区分: Ⅲ】
<p>写真3 支承本体Bh0101 アンカーボルトBa0101 腐食 防食機能の劣化</p> 	<p>写真4 支承本体Bh0102 アンカーボルトBa0102 腐食 防食機能の劣化</p> 




状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

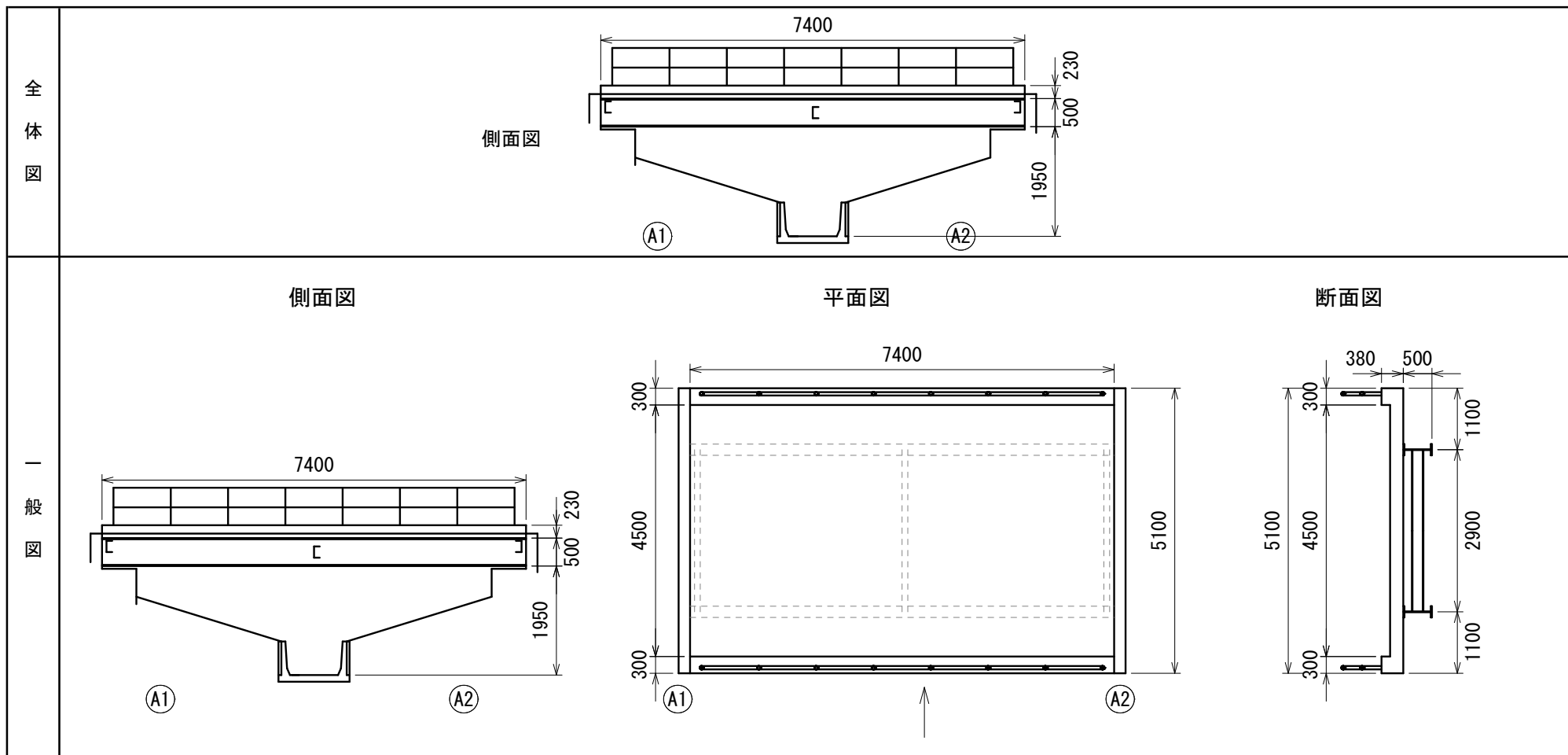
<p>支承部(支承本体・アンカーボルト)【判定区分: Ⅲ】</p>	<p>支承部(支承本体・アンカーボルト)【判定区分: Ⅲ】</p>
<p>写真5 支承本体Bh0201 アンカーボルトBa0201 腐食 防食機能の劣化</p> 	<p>写真6 支承本体Bh0202 アンカーボルトBa0202 腐食 防食機能の劣化</p> 
<p>その他(伸縮装置)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>その他(舗装)【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>写真7 伸縮装置Ej01 変形・欠損</p> 	<p>写真8 舗装Pm01 土砂詰まり</p> 

状況写真(損傷状況)  
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。  
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。


<p>その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>【判定区分: 】</p>
<p>写真9            防護柵Gf01            変形・欠損</p> 	
<p>【判定区分: 】</p>	<p>【判定区分: 】</p>

点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果										起点側         緯度 35° 25' 3.722"         経度 136° 12' 13.856"		終点側         緯度 35° 25' 3.817"         経度 136° 12' 14.117"		橋梁ID																		
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)			路 線 名		益田湖岸線			管 轄				橋梁コード		250006123																
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町			距 離 標		自							調書更新年月日		2017年2月28日																
		至 長浜市益田町・早崎町					至									最新点検年月日		2016年12月8日														
供用開始日		不明(昭和40年代)		橋長		7.4m		活荷重・等級		-		適用示方書		昭和39年 道路橋示方書(※)																		
上部構造形式		鋼橋_H形鋼			幅員		全 幅 員		5.10m		地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅		地覆幅		中央帯		中央分離帯		交通条件		調 査 年			
							有 効 幅 員		4.50m		0.30m				4.50m		1						0.30m								交 通 量	
下部構造形式		逆T式橋台2橋			備考																		大型混入率		%							
基礎形式		基礎形式不明																					荷 重 制 限		t							
総合検査結果		<div>健全度 (橋単位)</div> <div>Ⅲ</div>																														
		<b>【橋梁の特徴】</b> ・本橋の供用開始年は、昭和40年代と推測し、建設後46年程度が経過した鋼橋_H形鋼である。																														
		<b>【損傷の総合評価】</b> ・上部構造: 主桁に局部的な板厚減少を伴う腐食・防食機能の劣化が見られ、横桁全体に腐食・防食機能の劣化が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきである。 ・下部構造: 堅壁の一部に漏水が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。 支承全体に板厚減少を伴う腐食・防食機能の劣化が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきである。 ・その他: 舗装に土砂詰まり、防護柵に著しい変形が見られる。維持工事で補修を行う必要がある。 伸縮装置に欠損が見られ、伸縮部に空隙が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。 防護柵に腐食・防食機能の劣化、排水管に腐食・防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。																														
		<b>【健全度の診断】</b> ・主桁に局部的な板厚減少を伴う腐食・防食機能の劣化、支承全体に板厚減少を伴う腐食・防食機能の劣化が見られる。 伸縮装置にも欠損が見られ道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度Ⅲとする。																														

点検調書(その2) 径間別一般図			径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 25′ 3.722″		終点側		緯度		35° 25′ 3.817″		橋梁ID			
									経度		136° 12′ 13.856″				経度		136° 12′ 14.117″					
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)			路 線 名		益田湖岸線			管 轄					橋梁コード		250006123					
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町			距 離 標		自								調書更新年月日		2017年2月28日					
		至 長浜市益田町・早崎町					至															



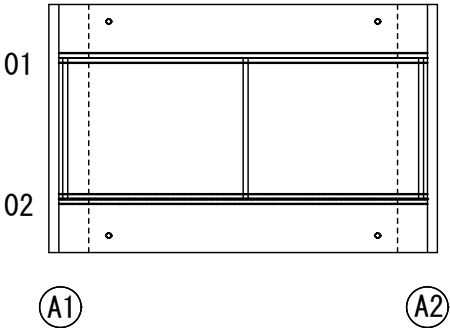
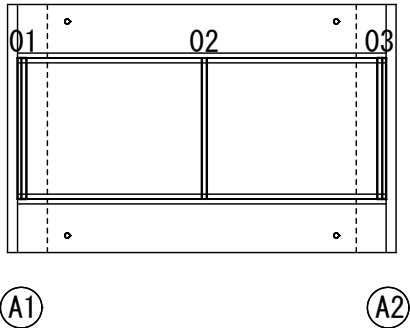
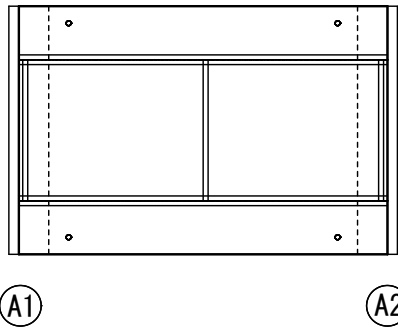
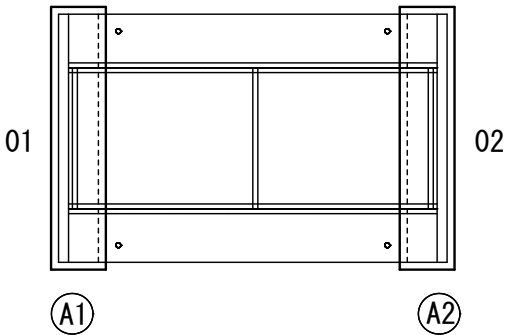


点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側 緯度 35° 25' 3.722" 経度 136° 12' 13.856"		終点側 緯度 35° 25' 3.817" 経度 136° 12' 14.117"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)		路線名		益田湖岸線				橋梁コード		250006123				
所在地		自 長浜市益田町・早崎町		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2017年2月28日		
		至 長浜市益田町・早崎町				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		2		撮影年月日		2016.12.8	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		正面		起点より終点を望む		写真説明		正面		終点より起点を望む					
																
	写真番号		3		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		4		撮影年月日		2016.12.8	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		側面		上流側より撮影		写真説明		側面		下流側より撮影					
																

点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側 緯度 35° 25' 3.722" 経度 136° 12' 13.856"		終点側 緯度 35° 25' 3.817" 経度 136° 12' 14.117"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		ムメイハン(3029) 無名橋(3029)		路線名		益田湖岸線				橋梁コード		250006123				
所在地		自 長浜市益田町・早崎町		距離標		自		管轄		調書更新年月日		2017年2月28日				
		至 長浜市益田町・早崎町				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		5		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		6		撮影年月日		2016.12.8	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		桁下		左側を上流とする				写真説明		下部工(縦壁)01		下流側より撮影			
	写真番号		7		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		8		撮影年月日		2016.12.8	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
写真説明		下部工(縦壁)02		下流側より撮影				写真説明		支承		A1橋台上				

点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側 緯度 35° 25' 3.722" 経度 136° 12' 13.856"		終点側 緯度 35° 25' 3.817" 経度 136° 12' 14.117"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		ムメイハン(3029) 無名橋(3029)		路線名		益田湖岸線				橋梁コード		250006123				
所在地		自 長浜市益田町・早崎町		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2017年2月28日		
		至 長浜市益田町・早崎町				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		9		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		10		撮影年月日		2016.12.8	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		支承		A2橋台上		写真説明		伸縮装置		A1上					
																
	写真番号		11		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		12		撮影年月日		2016.12.8	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		伸縮装置		A2上		写真説明		点検状況							
																

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図			径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25′ 3.722″		緯度 35° 25′ 3.817″		終点側		緯度 35° 25′ 3.817″		緯度 136° 12′ 14.117″		橋梁ID				
								経度 136° 12′ 13.856″						経度 136° 12′ 14.117″									
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線				管 轄						橋 梁コード		250006123			
所 在 地		自		長浜市益田町・早崎町		距 離 標		自										調書更新年月日		2017年2月28日			
		至		長浜市益田町・早崎町				至															

要素番号図及び部材番号図	【部材番号】											
	主桁 (Mg)						横桁 (Cr)					
												
	床版 (Ds)						橋台 (Ac)					
												

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図			径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 25′ 3.722″		終点側		緯度		35° 25′ 3.817″		橋梁ID			
									経度		136° 12′ 13.856″				経度		136° 12′ 14.117″					
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)			路 線 名		益田湖岸線			管 轄					橋 梁 コー ド		250006123					
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町			距 離 標		自										調書更新年月日		2017年2月28日			
		至 長浜市益田町・早崎町					至															

要素番号図及び部材番号図	【部材番号】	
	<div>支承部 (Bh, Ba)</div> <div>01</div> <div><div><div>0101</div><div>0201</div></div><div><div>0102</div><div>0202</div></div></div> <div><div>A1</div><div>A2</div></div>	<div>舗装 (Pm)</div> <div>01</div> <div><div><div>0101</div><div>0201</div></div><div><div>0102</div><div>0202</div></div></div> <div><div>A1</div><div>A2</div></div>
	<div>防護柵 (Gf), 地覆 (Fg)</div> <div>01</div> <div><div><div>0101</div><div>0201</div></div><div><div>0102</div><div>0202</div></div></div> <div><div>A1</div><div>A2</div></div>	<div>伸縮装置 (Ej)</div> <div>01</div> <div><div><div>0101</div><div>0201</div></div><div><div>0102</div><div>0202</div></div></div> <div><div>A1</div><div>A2</div></div>

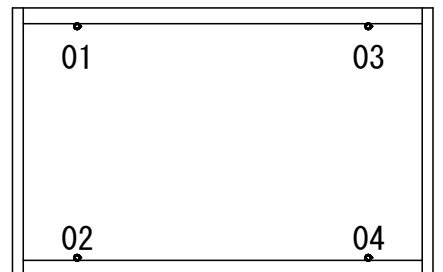


点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図			径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 25' 3.722"	終点側	緯度	35° 25' 3.817"	橋梁ID	
						経度	136° 12' 13.856"		経度	136° 12' 14.117"		

フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)		路 線 名	益田湖岸線		管 轄		橋梁コード	250006123
所 在 地	自	長浜市益田町・早崎町	距 離 標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町・早崎町		至					

【部材番号】

排水施設 (Dr, Dp)



Ⓐ1

Ⓐ2

要素番号図及び部材番号図

点検調書(その5) 損傷図			径間番号	1	起点側	緯度	35° 25' 3.722"	終点側	緯度	35° 25' 3.817"	橋梁ID	
						経度	136° 12' 13.856"		経度	136° 12' 14.117"		
フリガナ 橋梁名	ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)		路線名	益田湖岸線						橋梁コード	250006123	
所在地	自	長浜市益田町・早崎町	距離標	自		管轄				調書更新年月日	2017年2月28日	
	至	長浜市益田町・早崎町		至						最新点検年月日	2016年12月8日	

損傷図

### 【桁下】

下流

上流

排水管 Dp01 ①腐食 小・大-c  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号23  
※ 排水管Dp02～Dp04も同様の損傷を示す

横桁 Cr01 ①腐食 小・大-c  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号3, 4, 5  
※ 横桁Cr02, Cr03も同様の損傷を示す

床版 Ds01 ⑫うき-e  
[幅200mm/長さ300mm]  
[幅1000mm/長さ300mm]  
写真番号6

床版 Ds01 ⑦剥離・鉄筋露出-d  
[幅100mm/長さ200mm]  
⑪床版ひびわれ-d  
[0.3mm/ー]L=300mmパターン1  
⑫うき-e  
[幅150mm/長さ150mm]  
写真番号7

主桁 Mg01 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号1

主桁 Mg02 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e  
写真番号2

損傷の種類	表	示	損傷の種類	表	示	損傷の種類	表	示
ひびわれ			遊離石灰			うき		
剥離			漏水			欠損		
鉄筋露出			その他					

点検調書(その5) 損傷図			径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 25′ 3.722″		終点側		緯度	35° 25′ 3.817″		橋梁ID			
							経度		136° 12′ 13.856″				経度		136° 12′ 14.117″					
フリガナ 橋 梁 名			ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)			路 線 名		益田湖岸線								橋梁コード			250006123	
所 在 地			自 長浜市益田町・早崎町			距 離 標		自		管 轄						調査更新年月日			2017年2月28日	
			至 長浜市益田町・早崎町					至								最新点検年月日			2016年12月8日	

損傷図

【A1橋台】

アンカーボルト Ba0101 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e

写真番号14

アンカーボルト Ba0201  
①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化-e

写真番号15

支承本体 Bh0201 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e  
⑬支承部の機能障害1-e  
⑲土砂詰まり-e

写真番号11

下部工(堅壁) Ac01 ⑳漏水・滞水-e

写真番号8

支承本体 Bh0101 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e  
⑬支承部の機能障害1-e  
⑲土砂詰まり-e

写真番号10

【A2橋台】

下部工(堅壁) Ac02 ⑳漏水・滞水-e

写真番号9

アンカーボルト Ba0102 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e

写真番号16

アンカーボルト Ba0202  
①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化-e

写真番号17

支承本体 Bh0202 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e  
⑬支承部の機能障害1-e  
⑲土砂詰まり-e

写真番号13

支承本体 Bh0102 ①腐食 大・大-e  
⑤防食機能の劣化1-e  
⑬支承部の機能障害1-e  
⑲土砂詰まり-e

写真番号12

損傷の種類	表	示	損傷の種類	表	示	損傷の種類	表	示
ひびわれ		遊離石灰		うき				
剝離		漏水		欠損				
鉄筋露出		その他						

点検調書(その5) 損傷図			径 間 番 号	1		起点側	緯度	35° 25' 3.722"	終点側	緯度	35° 25' 3.817"	橋梁ID	
							経度	136° 12' 13.856"		経度	136° 12' 14.117"		
フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)		路 線 名	益田湖岸線		管 轄			橋梁コード		250006123		
所 在 地	自	長浜市益田町・早崎町	距 離 標	自					調書更新年月日		2017年2月28日		
	至	長浜市益田町・早崎町		至					最新点検年月日		2016年12月8日		

損  
傷  
図

【橋面】

防護柵 Gf01 ①腐食 小・大-c  
⑤防食機能の劣化1-e  
②③変形・欠損-e  
写真番号21

伸縮装置 Ej01 ②③変形・欠損-e  
[幅150mm/深さ700mm/長さ400mm]  
写真番号18, 19

防護柵 Gf02 ①腐食 小・大-c  
⑤防食機能の劣化1-e  
②③変形・欠損-c  
写真番号22

舗装 Pm01 ②④土砂詰まり-e  
写真番号20

下流

上流

A1

A2

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		欠損	
鉄筋露出		その他			

28長浜市191-0無名橋(3029).xlsm

15

点検調書(その6) 損傷写真					径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25′ 3.722″ 経度 136° 12′ 13.856″		終点側		緯度 35° 25′ 3.817″ 経度 136° 12′ 14.117″		橋梁ID							
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線								橋梁コード		250006123						
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町				距 離 標		自		管 轄						調書更新年月日		2017年2月28日						
		至 長浜市益田町・早崎町						至								最新点検年月日		2016年12月8日						
損 傷 写 真	写真番号		1		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		2		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		02		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		e		伸縮部からの漏水・土砂詰まりにより厳しい腐食環境となっており、層状剥離錆が発生し、板厚減少が見られる。  損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1				損傷の種類		腐食		損傷程度		e		伸縮部からの漏水・土砂詰まりにより厳しい腐食環境となっており、層状剥離錆が発生し、板厚減少が見られる。  損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1			
																								
	写真番号		3		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		4		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
部材名		横桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		横桁		部材番号		02		メ		モ		
損傷の種類		腐食		損傷程度		c		鋼材全体に錆が見られる。表面の凹凸・うろこ状の錆・層状の剥離は見られない。  損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1				損傷の種類		腐食		損傷程度		c		鋼材全体に錆が見られる。表面の凹凸・うろこ状の錆・層状の剥離は見られない。  損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1				
																								



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25' 3.722"		終点側		緯度 35° 25' 3.817"		橋梁ID								
		経度 136° 12' 13.856"								経度 136° 12' 14.117"														
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線						橋梁コード				250006123						
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町				距 離 標		自		管 轄				調書更新年月日				2017年2月28日						
		至 長浜市益田町・早崎町						至						最新点検年月日				2016年12月8日						
損 傷 写 真	写真番号		5		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		6		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		横桁		部材番号		03		メ		モ		部材名		床版		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		c		鋼材全体に錆が見られる。 表面の凹凸・うろこ状の錆・層状の剥離は見られない。  損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1				損傷の種類		うき		損傷程度		e		支点部付近にうきが見られる。  ・幅 200mm ・長さ 300mm  ・幅 1000mm ・長さ 300mm			
	写真番号		7		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		8		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		床版		部材番号		01		メ		モ		部材名		下部工(縦壁)		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		床版ひびわれ		損傷程度		d(1)		床版ひびわれ(鉛直方向)が見られる。  (0.3mm/-)L=300mm 損傷程度 d パターン1 遊離石灰は見られない。  【その他の損傷】 ⑦剥離・鉄筋露出-d ・幅 100mm ・長さ 200mm ⑫うき-e ・幅 150mm ・長さ 150mm				損傷の種類		漏水・滞水		損傷程度		e		縦壁に伸縮部からの漏水が見られる。			



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25′ 3.722″ 経度 136° 12′ 13.856″		終点側		緯度 35° 25′ 3.817″ 経度 136° 12′ 14.117″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線				管 轄						橋 梁 コー ド		250006123	
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町				距 離 標		自										調書更新年月日		2017年2月28日	
		至 長浜市益田町・早崎町						至										最新点検年月日		2016年12月8日	

損 傷 写 真	写真番号		9		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		10		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		縦壁		部材番号		02		メ		モ		部材名		支承本体		部材番号		0101		メ		モ	
	損傷の種類		漏水・滞水		損傷程度		e		縦壁に伸縮部からの漏水が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		e		伸縮部からの漏水・土砂詰まりにより厳しい腐食環境となっており、層状剥離錆が発生し、局所的な板厚減少が見られる。			
																					損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1 ⑯支承の機能障害-e 分類1 パターン2(腐食)7(土砂堆積) ⑭土砂詰まり-e			
	写真番号		11		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		12		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		支承本体		部材番号		0201		メ		モ		部材名		支承本体		部材番号		0102		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		e		伸縮部からの漏水・土砂詰まりにより厳しい腐食環境となっており、層状剥離錆が発生し、局所的な板厚減少が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		e		伸縮部からの漏水・土砂詰まりにより厳しい腐食環境となっており、層状剥離錆が発生し、局所的な板厚減少が見られる。			
																				損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1 ⑯支承の機能障害-e 分類1 パターン2(腐食)7(土砂堆積) ⑭土砂詰まり-e				

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25' 3.722"		終点側		緯度 35° 25' 3.817"		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線				管 轄		橋梁コード				250006123	
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町				距 離 標		自						調書更新年月日				2017年2月28日	
		至 長浜市益田町・早崎町						至						最新点検年月日				2016年12月8日	

損 傷 写 真	写真番号		13		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		14		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		支承本体		部材番号		0202		メ		モ		部材名		アンカーボルト		部材番号		0101		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		e		伸縮部からの漏水・土砂詰まりにより、 厳しい腐食環境となっており、 層状剥離錆が発生し、 局所的な板厚減少が見られる。				損傷の種類		腐食		損傷程度		e		アンカーボルト全体に腐食が視認でき、 著しい膨張が生じている。			
									損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1 ⑩支承の機能障害-e 分類1 パターン2(腐食)7(土砂堆積) ⑭土砂詰まり-e												損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1			
	写真番号		15		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		16		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		アンカーボルト		部材番号		0201		メ		モ		部材名		アンカーボルト		部材番号		0102		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		e		アンカーボルト全体に腐食が視認でき、 著しい膨張が生じている。				損傷の種類		腐食		損傷程度		e		アンカーボルト全体に腐食が視認でき、 著しい膨張が生じている。			
									損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1												損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1			



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25′ 3.722″ 経度 136° 12′ 13.856″		終点側		緯度 35° 25′ 3.817″ 経度 136° 12′ 14.117″		橋梁ID								
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線				管 轄		橋 梁 コー ド				250006123						
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町				距 離 標		自						調書更新年月日				2017年2月28日						
		至 長浜市益田町・早崎町						至						最新点検年月日				2016年12月8日						
損 傷 写 真	写真番号		17		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		18		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		アンカーボルト		部材番号		0202		メ		モ		部材名		伸縮装置		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		腐食		損傷程度		e		アンカーボルト全体に腐食が視認でき、著しい膨張が生じている。  損傷程度 e 損傷の深さ(大) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1				損傷の種類		変形・欠損		損傷程度		e		伸縮装置の欠損により遊間部から土砂が流出している。  ・幅 150mm ・高さ 700mm ・長さ 400mm			
																								
	写真番号		19		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8		写真番号		20		径間番号		1		撮影年月日		2016.12.8	
	部材名		伸縮装置		部材番号		01		メ		モ		部材名		舗装		部材番号		01		メ		モ	
損傷の種類		変形・欠損		損傷程度		e		写真番号18の近景  ・幅 150mm ・高さ 700mm ・長さ 400mm				損傷の種類		土砂詰まり		損傷程度		e		下流側の地覆沿いに土砂詰まりが見られる。				
																								

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25' 3.722"		終点側		緯度 35° 25' 3.817"		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線		管 轄						橋 梁 コー ド		250006123	
所 在 地		自 長浜市益田町・早崎町				距 離 標		自								調書更新年月日		2017年2月28日	
		至 長浜市益田町・早崎町						至								最新点検年月日		2016年12月8日	

損 傷 写 真	写真番号	21	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.8	写真番号	22	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.8
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ                  モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ                  モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	経年劣化による腐食が見られる。		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	経年劣化による腐食が見られる。	
				損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1  ②③変形・欠損-e 著しい変形が見られる。					損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1  ②③変形・欠損-c 変形が見られる。			
	写真番号	23	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.8	写真番号	24	径間番号	1	撮影年月日	2016.12.8
	部材名	排水管	部材番号	01～04	メ                  モ		部材名	床版	部材番号	01	メ                  モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	該当部材全体に経年劣化による腐食が見られる。		損傷の種類		損傷程度		写真番号7の防錆剤塗布後	
			損傷程度 c 損傷の深さ(小) 損傷の面積(大)  【その他の損傷】 ⑤防食機能の劣化-e 分類1  ※排水管Dp02～Dp04も同様の損傷を示す。									



点検調査(その9) 損傷程度の評価結果総括					径 間 番 号		1		起点側		緯度35° 25′ 3.722″ 経度136° 12′ 13.856″		終点側		緯度35° 25′ 3.817″ 経度136° 12′ 14.117″		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線			管 轄					橋 梁 コー ド		250006123				
所 在 地		自		長浜市益田町・早崎町			距 離 標		自										調書更新年月日		2017年2月28日	
		至		長浜市益田町・早崎町					至													最新点検年月日
工 種		材 料		部材種別			今回定期点検			点検日		2016年12月8日			前回定期点検		点検日					年 月 日
				名称		記号		部材番号		損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)									
S		S		主桁		Mg		01		腐食(e),防食機能の劣化(e)												
S		S		主桁		Mg		02		腐食(e),防食機能の劣化(e)												
S		S		横桁		Cr		01		腐食(c),防食機能の劣化(e)												
S		S		横桁		Cr		02		腐食(c),防食機能の劣化(e)												
S		S		横桁		Cr		03		腐食(c),防食機能の劣化(e)												
S		C		床版		Ds		01		剥離・鉄筋露出(d),床版ひびわれ(d(1)),うき(e)												
A		C		下部工(縦壁)		Ac		01		漏水・滞水(e)												
A		C		下部工(縦壁)		Ac		02		漏水・滞水(e)												
B		S		支承本体		Bh		00		腐食(e),防食機能の劣化(e),支承部の機能障害(e),土砂詰まり(e)												
B		S		アンカーボルト		Ba		00		腐食(e),防食機能の劣化(e)												
R		X		伸縮装置		Ej		01		変形・欠損(e)												
R		A		舗装		Pm		01		土砂詰まり(e)												
R		S		防護柵		Gf		00		腐食(c),防食機能の劣化(e),変形・欠損(e)												
D		S		排水管		Dp		00		腐食(c),防食機能の劣化(e)												

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号	1	起点側		緯度	35° 25' 3.722"	終点側		緯度	35° 25' 3.817"	橋梁ID	
								経度	136° 12' 13.856"			経度	136° 12' 14.117"		

フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)			路 線 名	益田湖岸線		管 轄		橋梁コード	250006123	
所 在 地	自	長浜市益田町・早崎町			距 離 標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町・早崎町				至				最新点検年月日	2016年12月8日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性					
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷		区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷	更新			区分E2 の損傷			
S	S	主桁	Mg	01	e	e			腐食									⑥材料劣化	Ⅲ	伸縮部からの漏水、土砂詰まりが原因と思われる層状剥離錆（板厚減少）が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度Ⅲとする。
S	S	主桁	Mg	01	e	e			防食機能の劣化									⑥材料劣化	Ⅲ	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	主桁	Mg	02	e	e			腐食									⑥材料劣化	Ⅲ	伸縮部からの漏水、土砂詰まりが原因と思われる層状剥離錆（板厚減少）が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度Ⅲとする。
S	S	主桁	Mg	02	e	e			防食機能の劣化									⑥材料劣化	Ⅲ	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。
S	S	横桁	Cr	01	c	c	腐食											⑥材料劣化	I	経年劣化が原因と思われる腐食が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。
S	S	横桁	Cr	01	e	e	防食機能の劣化											⑥材料劣化	I	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 25' 3.722"		緯度 35° 25' 3.817"		終点側		緯度 36° 12' 14.117"		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)				路 線 名		益田湖岸線			管 轄						橋梁コード		250006123		
所 在 地		自		長浜市益田町・早崎町		距 離 標		自									調査更新年月日		2017年2月28日		
		至		長浜市益田町・早崎町				至									最新点検年月日		2016年12月8日		
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見	
		名 称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性		確 定		推 定			
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷							
		区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分E1 の損傷	更新		区分E2 の損傷													
S	S	横桁	Cr	02	c	c	腐食											⑥材料劣化	I	経年劣化が原因と思われる腐食が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
S	S	横桁	Cr	02	e	e	防食機能の劣化											⑥材料劣化	I	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
S	S	横桁	Cr	03	c	c	腐食											⑥材料劣化	I	経年劣化が原因と思われる腐食が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
S	S	横桁	Cr	03	e	e	防食機能の劣化											⑥材料劣化	I	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
S	C	床版	Ds	01	d	d	剥離・鉄筋露出											⑦その他 (製作・施工不良・工)	I	かぶり不足が原因と思われる鉄筋露出が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
S	C	床版	Ds	01	d	d	床版ひびわれ											⑦その他 (乾燥収縮・温度応力・工)	I	乾燥収縮が原因と思われるひびわれが見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
S	C	床版	Ds	01	e	e	うき											⑦その他 (製作・施工不良・工)	I	かぶり不足が原因と思われるうきが見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	
A	C	下部工 (縦壁)	Ac	01	e	e	漏水・滞水											⑦その他 (防水・排水工不良・工)	I	伸縮部の材料劣化が原因と思われる漏水が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	

点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)			径 間 番 号	1	起点側		緯度	35° 25' 3.722"	終点側		緯度	35° 25' 3.817"	橋梁ID	
							経度	136° 12' 13.856"			経度	136° 12' 14.117"		

フリガナ 橋 梁 名		ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)		路 線 名	益田湖岸線		管 轄		橋梁コード	250006123
所 在 地	自	長浜市益田町・早崎町		距 離 標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町・早崎町			至				最新点検年月日	2016年12月8日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性					
							区分B の損傷	区分Cの損傷				区分M の損傷	区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷			
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷	更新	区分E1 の損傷		更新	区分E2 の損傷						
A	C	下部工 (縦壁)	Ac	02	e	e	漏水・滞 水										⑦その他 (防水・排水 工不良・工)	I	伸縮部の材料劣化が原因と思 われる漏水が見られる。状況に 応じて措置を講ずる事が望まし い。	



点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)	径間番号	1
---	------	---

起点側	緯度	35° 25' 3.722"	終点側	緯度	35° 25' 3.817"	橋梁ID	
	経度	136° 12' 13.856"		経度	136° 12' 14.117"		

フリガナ 橋梁名	ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)		路線名	益田湖岸線		管轄		橋梁コード	250006123
所在地	自	長浜市益田町・早崎町	距離標	自				調査更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町・早崎町		至				最新点検年月日	2016年12月8日

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分								健全度 (部材単位)	所 見	
		名称	記号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性				
						区分Bの損傷	区分Cの損傷			区分Mの損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷			区分S2 の損傷
							区分C1の損傷	区分C2の損傷			区分E1の損傷	区分E2の損傷				
B	S	支承本体	Bh	e	e			腐食						Ⅲ	伸縮部からの漏水、土砂詰まりが原因と思われる層状剥離錆(板厚減少)が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度Ⅲとする。	
B	S	支承本体	Bh	e	e		防食機能の劣化							Ⅱ	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
B	S	支承本体	Bh	e	e			支承部の機能障害						Ⅲ	伸縮部からの漏水、土砂詰まりが原因と思われる層状剥離錆(板厚減少)が見られる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度Ⅲとする。	
B	S	支承本体	Bh	e	e		土砂詰まり							Ⅱ	伸縮部からの土砂詰まりが見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
B	S	アンカーボルト	Ba	e	e			腐食						Ⅲ	伸縮装置の欠損により遊間部から土砂が流出し、沓座面に堆積していることが原因と思われる腐食がみられる。早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度Ⅲとする。	
B	S	アンカーボルト	Ba	e	e		防食機能の劣化							Ⅱ	経年劣化が原因と思われる防食機能の劣化が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
R	X	伸縮装置	Ej	e	e		変形・欠損							Ⅱ	輪荷重の繰り返しや雨水等が原因と思われる伸縮部の空隙が見られる。予防保全の観点から措置を講ずる事が望ましい。	
R	C	舗装	Pm	e	e				土砂詰まり					Ⅱ	路面に土砂詰まりが見られる。維持工事で補修を行う必要がある。	
R	S	防護柵	Gf	c	c	腐食								Ⅰ	経年劣化による腐食が見られる。状況に応じて措置を講ずる事が望ましい。	

点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)	径 間 番 号	1
---	---------	---

起点側	緯度	35° 25' 3.722"	終点側	緯度	35° 25' 3.817"	橋梁ID	
	経度	136° 12' 13.856"		経度	136° 12' 14.117"		

フリガナ 橋 梁 名	ムメイハシ(3029) 無名橋(3029)		路 線 名	益田湖岸線		管 轄		橋梁コード	250006123
所 在 地	自	長浜市益田町・早崎町	距 離 標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市益田町・早崎町		至				最新点検年月日	2016年12月8日

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分								健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性			
						区分Bの損傷	区分Cの損傷		区分Mの損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷		
							区分C1の損傷	区分C2の損傷		区分E1の損傷	区分E2の損傷				
R	S	防護柵	Gf	e	e	防食機能の 劣化								I	経年劣化による防食機能の劣化が見られる。状 況に応じて措置を講ずる事が望ましい。
R	S	防護柵	Gf	e	c				変形・欠損					Ⅱ	接触・衝突が原因と思われる変形が見られる。維 持工事で補修を行う必要がある。
D	S	排水管	Dp	c	c	腐食								I	経年劣化による腐食が見られる。状況に応じて 措置を講ずる事が望ましい。
D	S	排水管	Dp	e	e	防食機能の 劣化								I	経年劣化による防食機能の劣化が見られる。状 況に応じて措置を講ずる事が望ましい。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27′ 20.70″	
				経度	136° 16′ 51.90″	
須賀谷3号橋 (フリガナ)スガタニ3ゴウハシ	須賀谷地内3号線	長浜市須賀谷町				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2016.9.27	河川:須賀谷川	有	一般道	その他	なし

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	点検責任者		
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	剥離・鉄筋露出	写真1～4-主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	ひびわれ、うき	写真5～6-縦壁01 写真7～8-縦壁02			
支承部							
その他							

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	床版の75%にコンクリート剥離・鉄筋露出が見られ、ジャンカも見られる。また、鉄筋の破断も2箇所見られ、腐食が著しく進んでいる。道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべきであると判断し、健全度はⅢとする。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)





架設年次	橋長	幅員
1962年	2.4m	2.37m
<div>終点</div> <div></div> <div>起点</div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】	上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】
<p>写真1 主桁Mg01 剥離・ 鉄筋露出 腐食</p> 	<p>写真2 主桁Mg01 剥離・ 鉄筋露出 腐食</p> 
上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】	上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】
<p>写真3 主桁Mg01 剥離・ 鉄筋露出 腐食</p> 	<p>写真4 主桁Mg01 剥離・ 鉄筋露出 腐食</p> 



状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

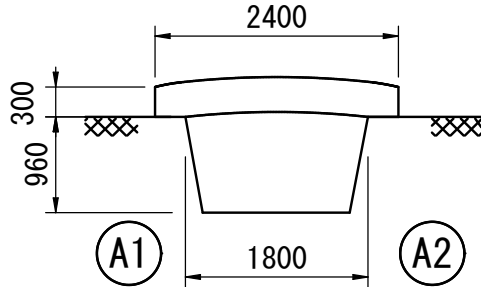
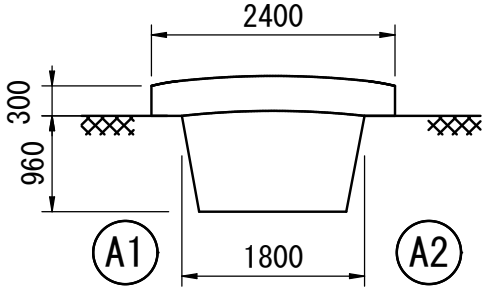
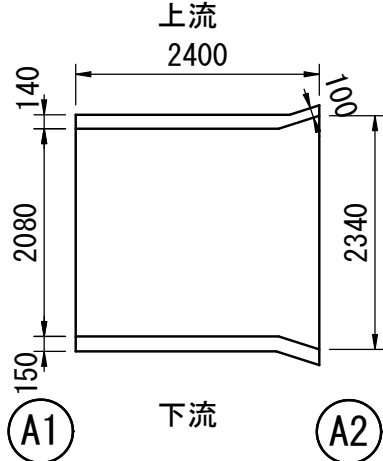
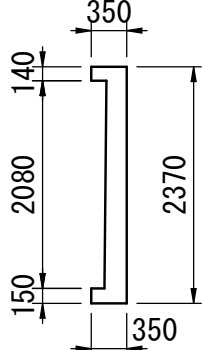
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造(縦壁)【判定区分: Ⅱ】	下部構造(縦壁)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真5 橋台Ac01 ひびわれ</p> 	<p>写真6 橋台Ac01 ひびわれ</p> 
下部構造(縦壁)【判定区分: Ⅱ】	下部構造(縦壁)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真7 橋台Ac02 ひびわれ</p> 	<p>写真8 橋台Ac02 ひびわれ</p> 



点検調書(その2) 径間別一般図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 27' 20.695"	終点側	緯度	35° 27' 20.687"	橋梁ID	
				経度	136° 16' 51.904"		経度	136° 16' 52.039"		

フリガナ 橋梁名	スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路線名	須賀谷地内3号線		管轄		橋梁コード	250006025
所在地	自	長浜市須賀谷町	距離標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市須賀谷町		至					

全体図			
一般図	<p>側面</p> 	<p>平面</p> 	<p>断面</p> 



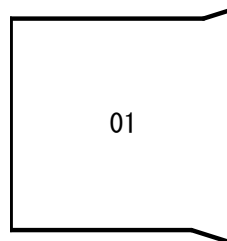
点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側         緯度 35° 27' 20.695"         経度 136° 16' 51.904"		終点側         緯度 35° 27' 20.687"         経度 136° 16' 52.039"		橋梁ID						
フリガナ 橋梁名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路線名		須賀谷地内3号線		管轄				橋梁コード		250006025			
所在地		自 長浜市須賀谷町		距離標		自								調書更新年月日		2017年2月28日	
		至 長浜市須賀谷町				至											
現 地 状 況 写 真	写真番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		2		撮影年月日		2016.9.27		
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ		
	写真説明		正面		起点より終点を望む				写真説明		側面		上流側より撮影 (起点右側)				
																	
	写真番号		3		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		4		撮影年月日		2016.9.27		
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ		
	写真説明		橋面		起点より終点を望む				写真説明		桁下		下流側より撮影 (起点左側)				
																	

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 27′ 20.695″	終点側	緯度	35° 27′ 20.687″	橋梁ID	
				経度	136° 16′ 51.904″		経度	136° 16′ 52.039″		

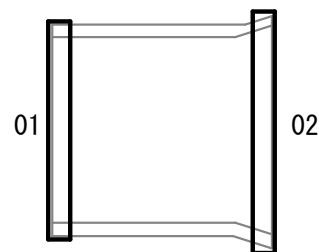
フリガナ 橋 梁 名	スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路 線 名	須賀谷地内3号線		管 轄		橋梁コード	250006025
所 在 地	自	長浜市須賀谷町	距 離 標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市須賀谷町		至					

【部材番号】

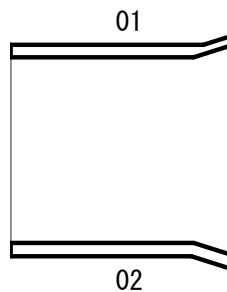
主桁 (Mg)



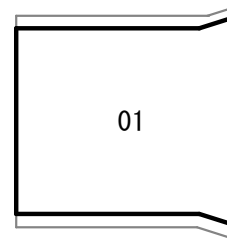
橋台 (Ac)



地覆 (Fg)



舗装 (Pm)



要素番号図及び部材番号図



点検調書(その5) 損傷図			径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 27′ 20.695″ 経度 136° 16′ 51.904″		終点側		緯度 35° 27′ 20.687″ 経度 136° 16′ 52.039″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路 線 名		須賀谷地内3号線		管 轄					橋梁コード		250006025			
所 在 地	自	長浜市須賀谷町		距 離 標	自								調書更新年月日		2017年2月28日			
	至	長浜市須賀谷町			至								最新点検年月日		2016年9月27日			

損傷図

**【桁下】**

主桁Mg01  
⑦剥離・鉄筋露出-e  
(1700mm×2350mm)  
⑩その他6-e(ジャンカ)  
写真番号1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

上流

主桁Mg01  
⑦剥離・鉄筋露出-e  
写真番号12

主桁Mg01  
⑦剥離・鉄筋露出-e  
写真番号10

下流

主桁Mg01  
⑦剥離・鉄筋露出-e  
写真番号11

①A1

①A2

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		う き	
剥 離		漏 水		欠 損	
鉄筋露出		その他			

点検調書(その5) 損傷図			径間番号	1	起点側	緯度	35° 27' 20.695"	終点側	緯度	35° 27' 20.687"	橋梁ID	
						経度	136° 16' 51.904"		経度	136° 16' 52.039"		

フリガナ 橋梁名	スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路線名	須賀谷地内3号線		管轄		橋梁コード	250006025	
所在地	自	長浜市須賀谷町	距離標	自				調書更新年月日	2017年2月28日	
	至	長浜市須賀谷町		至				最新点検年月日	2016年9月27日	

損傷図

【A1橋台】

下流

上流

下部工(堅壁)Ac01

⑥ひびわれ(中・大)-c  
(0.2mm/-)L=0.5m

⑦剥離・鉄筋露出-c

⑪その他6-c(ジャンカ)

写真番号17

下部工(堅壁)Ac01

⑪その他6-e(ジャンカ)

写真番号15, 16

【A2橋台】

上流

下流

下部工(堅壁)Ac02

⑫うき-e  
(100mm×2500mm)

⑧漏水・遊離石灰-c

写真番号18, 19, 20

下部工(堅壁)Ac02

⑪その他6-c(ジャンカ)

写真番号21, 22




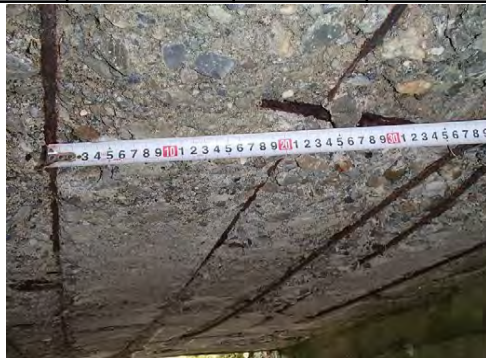
損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏 水		欠 損	
鉄筋露出		その他			

点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 27' 20.695"	終点側	緯度	35° 27' 20.687"	橋梁ID	
			経度	136° 16' 51.904"		経度	136° 16' 52.039"			

フリガナ 橋梁名	スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路線名	須賀谷地内3号線		管轄	橋梁コード	250006025	
所在地	自	長浜市須賀谷町	距離標	自			調査更新年月日	2017年2月28日	
	至	長浜市須賀谷町		至			最新点検年月日	2016年9月27日	

損 傷 図	<p>【橋面】</p>
-------------	-------------





損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		欠損	
鉄筋露出		その他			




点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 27' 20.695"		終点側		緯度		35° 27' 20.687"		橋梁ID					
緯度		136° 16' 51.904"								緯度		136° 16' 52.039"													
経度										経度															
フリガナ 橋 梁 名				スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋				路 線 名		須賀谷地内3号線				管 轄						橋梁コード		250006025			
所 在 地		自		長浜市須賀谷町				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2017年2月28日	
		至		長浜市須賀谷町						至										最新点検年月日		2016年9月27日			
損 傷 写 真	写真番号		1		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		2		径間番号		1		撮影年月日		2016.10.7		
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		
	損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		床版コンクリートの全体的に、鉄筋露出が広がっている。2箇所、鉄筋の破断が見られる。 1700×2350				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		鉄筋破断箇所 側面写真				
																									
	写真番号		3		径間番号		1		撮影年月日		2016.10.7		写真番号		4		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		
損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		鉄筋破断箇所 写真2の近景写真 上流側より撮影				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		配力筋 φ8mm ピッチ200mm					
																									

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起 点 側		緯 度 35° 27' 20.695″ 経 度 136° 16' 51.904″		終 点 側		緯 度 35° 27' 20.687″ 経 度 136° 16' 52.039″		橋 梁 ID								
フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋				路 線 名		須賀谷地内3号線				管 轄		橋 梁 コー ド				250006025						
所 在 地		自 長浜市須賀谷町				距 離 標		自						調書更新年月日				2017年2月28日						
		至 長浜市須賀谷町						至						最新点検年月日				2016年9月27日						
損 傷 写 真	写真番号		5		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		6		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		配力筋 φ8mm		ピッチ130～200mm		損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		主筋 φ10mm			
																			ピッチ 150mm程度					
	写真番号		7		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		8		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		主筋 φ10mm		ピッチ 110mm		損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		コンクリート碎石の定着がもろく、点検ハンマーでたたくと剥がれ落ちる状況。			
																					【その他の損傷】 ⑦その他(ジャンカ)-e 分類6 剥離面にはジャンカが見られる。			




点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 27' 20.695"		終点側		緯度		35° 27' 20.687"		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋				路 線 名		須賀谷地内3号線										橋梁コード		250006025					
所 在 地		自		長浜市須賀谷町				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2017年2月28日	
		至		長浜市須賀谷町						至												最新点検年月日		2016年9月27日	

損 傷 写 真	写真番号		9		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		10		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		その他		損傷程度		e		主桁にジャンカが見られる。				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		終点側・中間位置に剥離・鉄筋露出が見られる。			
									分類6 その他(ジャンカ)															
	写真番号		11		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		12		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		起点・下流側に剥離・鉄筋露出が見られる。				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		e		起点・下流側に剥離・鉄筋露出が見られる。			
																								





点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 27' 20.695"		終点側		緯度		35° 27' 20.687"		橋梁ID					
フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋				路 線 名		須賀谷地内3号線										橋梁コード		250006025					
所 在 地		自		長浜市須賀谷町				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2017年2月28日	
		至		長浜市須賀谷町						至												最新点検年月日		2016年9月27日	
損 傷 写 真	写真番号		13		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		14		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		
	損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度				破断箇所 針金にて応急処置				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度				破断箇所 針金にて応急処置				
																									
	写真番号		15		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		16		径間番号		1		撮影年月日		2016.10.7		
	部材名		下部工(縦壁)		部材番号		01		メ		モ		部材名		下部工(縦壁)		部材番号		01		メ		モ		
	損傷の種類		その他		損傷程度		c		河川流水による摩耗が原因と思 われるジャンカが見られる。				損傷の種類		その他		損傷程度		c		写真番号15の近景写真				
									その他(ジャンカ) 分類6																



点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 27' 20.695"		終点側		緯度		35° 27' 20.687"		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋				路 線 名		須賀谷地内3号線										橋梁コード		250006025			
所 在 地		自 長浜市須賀谷町				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2017年2月28日	
		至 長浜市須賀谷町						至								最新点検年月日		2016年9月27日					

損 傷 写 真	写真番号	17	径間番号	1	撮影年月日	2016.10.7	写真番号	18	径間番号	1	撮影年月日	2016.9.27
	部材名	下部工(堅壁)	部材番号	01	メ      モ		部材名	下部工(堅壁)	部材番号	02	メ      モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	堅壁にひびわれが見られる。		損傷の種類	うき	損傷程度	e	堅壁にうきが見られる。 100mm×2500mm	
				(0.2mm/-)L=0.5m 損傷程度c 最大ひびわれ幅(中) 最小ひびわれ間隔(小)  【その他の損傷】 ⑦剥離・鉄筋露出-c ⑪その他(ジャンカ)-c 分類6					【その他の損傷】 ⑧漏水・遊離石灰-c			
	写真番号	19	径間番号	1	撮影年月日	2016.9.27	写真番号	20	径間番号	1	撮影年月日	2016.9.27
	部材名	下部工(堅壁)	部材番号	02	メ      モ		部材名	下部工(堅壁)	部材番号	02	メ      モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	堅壁にうきが見られる。 100mm×2500mm		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	c	写真番号18の近景写真	
				写真18の上流側  【その他の損傷】 ⑧漏水・遊離石灰-c								

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 27′ 20.695″ 経度 136° 16′ 51.904″		終点側		緯度 35° 27′ 20.687″ 経度 136° 16′ 52.039″		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋				路 線 名		須賀谷地内3号線				管 轄		橋梁コード				250006025	
所 在 地		自 長浜市須賀谷町				距 離 標		自						調書更新年月日				2017年2月28日	
		至 長浜市須賀谷町						至						最新点検年月日				2016年9月27日	

損 傷 写 真	写真番号		21		径間番号		1		撮影年月日		2016.10.7		写真番号		22		径間番号		1		撮影年月日		2016.10.7	
	部材名		下部工(堅壁)		部材番号		02		メ		モ		部材名		下部工(堅壁)		部材番号		02		メ		モ	
	損傷の種類		その他		損傷程度		c		河川流水による摩耗が原因と思 われるジャンカが見られる。				損傷の種類		その他		損傷程度		c		写真番号21の近景写真			
									その他(ジャンカ) 分類6															
	写真番号		23		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27		写真番号		24		径間番号		1		撮影年月日		2016.9.27	
	部材名		舗装		部材番号		01		メ		モ		部材名		地覆		部材番号		01		メ		モ	
損傷の種類		土砂詰まり		損傷程度		e		起点側に土砂堆積が見られる。				損傷の種類		変形・欠損		損傷程度		c		終点(上流)側に欠損が見られ る。				
																								

写真番号

橋梁名

部材名

部材番号

損傷の種類及び番号

須賀谷3号橋

地覆

01

欠損

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括				径 間 番 号		1		起点側         緯度 35° 27' 20.695"         経度 136° 16' 51.904"		終点側         緯度 35° 27' 20.687"         経度 136° 16' 52.039"		橋梁ID			
フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハン 須賀谷3号橋			路 線 名		須賀谷地内3号線					橋梁コード		250006025	
所 在 地		自 長浜市須賀谷町			距 離 標		自			管 轄		調書更新年月日		2017年2月28日	
		至 長浜市須賀谷町					至					最新点検年月日		2016年9月27日	
工 種	材 料	部材種別			今回定期点検	点検日	2016年9月27日		前回定期点検	点検日	年 月 日				
		名 称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)							
S	C	主桁	Mg	01	剥離・鉄筋露出(e),その他(ジャンカ)(e)										
A	C	下部工(堅壁)	Ac	01	ひびわれ(c),その他(ジャンカ)(c)										
A	C	下部工(堅壁)	Ac	02	漏水・遊離石灰(c),うき(e),その他(ジャンカ)(c)										
R	C	舗装	Pm	00	土砂詰まり(e)										
R	C	地覆	Fg	00	変形・欠損(c)										



点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)				径間番号	1	起点側	緯度	35° 27' 20.695"	終点側	緯度	35° 27' 20.687"	橋梁ID	
							経度	136° 16' 51.904"		経度	136° 16' 52.039"		

フリガナ 橋 梁 名		スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路 線 名		須賀谷地内3号線		管 轄		橋梁コード	250006025
所 在 地	自	長浜市須賀谷町		距 離 標	自					調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市須賀谷町			至					最新点検年月日	2016年9月27日

工種	材料	部材種別			損傷の程度		対策区分										原 因		健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性				維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性					
							区分B の損傷	区分Cの損傷		区分M の損傷		区分Eの損傷			区分S1 の損傷	区分S2 の損傷				
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更新	区分E1 の損傷	更新			区分E2 の損傷			
S	C	主桁	Mg	01	e	e			剥離・鉄 筋露出									⑦その他 (施工不良・ 工)	Ⅲ	施工時のかぶり不足による鉄筋 露出と考えられる。早期に措置 を講ずるべき状態である。
S	C	主桁	Mg	01	e	e	その他 (ジャン カ)											⑦その他 (施工不良・ 工)	I	施工時の締固め不良と考えられ る。状況に応じて措置を講ずる ことが望ましい。
A	C	下部工 (縦壁)	Ac	01	c	c		ひびわ れ										⑦その他 (施工不良・ 工)	Ⅱ	施工時の締固め不良と考えられ る。予防保全の観点から措置を 講ずることが望ましい。
A	C	下部工 (縦壁)	Ac	01	c	c	その他 (ジャン カ)											⑦その他 (河川浸食・ ア)	I	河川の流水による摩耗が見られ る。状況に応じて措置を講ずる ことが望ましい。
A	C	下部工 (縦壁)	Ac	02	c	c	その他 (ジャン カ)											⑦その他 (河川浸食・ ア)	I	河川の流水による摩耗が見られ る。状況に応じて措置を講ずる ことが望ましい。
A	C	下部工 (縦壁)	Ac	02	c	c	漏水・遊 離石灰											⑦その他 (施工不良・ 工)	I	路面からの伝い水と考えられる 漏水跡が見られる。状況に応じ て措置を講ずることが望ましい。
A	C	下部工 (縦壁)	Ac	02	e	e		うき										⑦その他 (施工不良・ 工)	Ⅱ	施工時の締固め不良と考えられ る。予防保全の観点から措置を 講ずることが望ましい。

点検調書(その11) 対策区分判定結果 (点検調書(その10)に記載以外の部材)	径間番号	1
---	------	---

起点側	緯度	35° 27' 20.695"	終点側	緯度	35° 27' 20.687"	橋梁ID	
	経度	136° 16' 51.904"		経度	136° 16' 52.039"		

フリガナ 橋梁名	スガタニ3ゴウハシ 須賀谷3号橋		路線名	須賀谷地内3号線		管轄		橋梁コード	250006025
所在地	自	長浜市須賀谷町	距離標	自				調書更新年月日	2017年2月28日
	至	長浜市須賀谷町		至				最新点検年月日	2016年9月27日

工種	材料	部材種別		損傷の程度		対策区分								健全度 (部材単位)	所 見
		名称	記号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性		詳細調査の 必要性			
						区分Bの損傷	区分Cの損傷		区分Mの損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷		
							区分C1の損傷	区分C2の損傷		区分E1の損傷	区分E2の損傷				
R	C	舗装	Pm	e	e				土砂詰まり					Ⅱ	土砂が舗装面に堆積している。維持工事で対応 する必要がある。
R	C	地覆	Fg	c	c	変形・欠損								Ⅰ	車両の衝突による欠損と考えられる。状況に応じ て措置を講ずることが望ましい。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 27' 6.00"	
				経度	136° 11' 46.18"	
野田橋 (フリガナ)ノダハシ	東尾上石川線	滋賀県長浜市湖北町津里				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2018.9.7	河川:普通河川	有	一般道	その他	水道管φ150

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者		点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ、変形・欠損	写真1 主桁(頂版)01			
	横桁	Ⅲ	洗掘	写真2 縦壁(側壁)02			
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					



点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) Ⅲ	(所見等) 主桁に幅の大きなひびわれ、両橋台に洗掘が見られることから、道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態であるため(健全度Ⅲ)とした。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	3m	4.80m
本体構造:RCボックスカルバート ボックス長:4.8m 内空断面:W2.7m×H1.8m 道路との斜角:90°		
<div>起点</div> <div></div> <div>終点</div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)  
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。  
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅲ】
<div>写真1 主桁(頂版)01 ひびわれ 変形・欠損</div> <div></div>	<div>写真2 縦壁(側壁)02 洗掘</div> <div></div>
【判定区分:   】	【判定区分:   】



点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果					起点側		緯度		35° 27′ 6.000″		終点側		緯度		35° 27′ 6.057″		橋梁ID																
					経度		136° 11′ 46.177″				経度		136° 11′ 46.276″																				
フリガナ 橋 梁 名		/ﾀﾞﾊｼ 野田橋			路 線 名		東尾上石川線			管 轄						橋梁コード		BR0-252034-00622															
所 在 地		自 滋賀県長浜市湖北町津里			距 離 標		自									調書更新年月日		2019年1月10日															
		至 滋賀県長浜市湖北町津里					至									最新点検年月日		2018年9月7日															
供用開始日		不明(昭和30年代(1955))		橋長		3.3m		活荷重・等級		不明		適用示方書		昭和14年 道路橋示方書(＊)						交通条件		調 査 年											
上部構造形式		RC溝橋(BOXカルバート)				幅員		全 幅 員		4.80m		地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線				歩道幅		地覆幅		中央帯		中央分離帯		交 通 量		台	
								有 効 幅 員		4.40m		0.20m				4.40m		1								0.20m							
下部構造形式		-				備考		地上														大型混入率		%									
基礎形式		直接基礎						BOX底版は堆積物のため点検不可														荷 重 制 限		t									
総合検査結果		健全度 (橋単位)		Ⅲ																													
		【橋梁の特徴】																															
		・供用歴は63年程度であり、RC溝橋(BOXカルバート)を主構とした1径間の構造である。																															
		・有効幅員は(W=4.4m)、通過交通量は少ない。																															
		【損傷の総合評価】																															
		・上部工:主桁(頂版)に幅の大きなひびわれおよびひびわれ周辺に欠損が見られる。内部鋼材まで達している可能性が高いため予防保全の観点から補修する必要がある。																															
		・下部工:縦壁に洗掘(流水摩耗)が見られ、放置すると確実に進行することが懸念されるため、橋梁構造の安全性の観点から速やかな対応が必要である。																															
		・路上施設:地覆に軽微な欠損、防護柵・添架物に腐食、防食機能の劣化が見られる。状況に応じた対応が望ましい。																															
		【健全度】																															
		・主桁に幅の大きなひびわれ、両橋台に洗掘が見られることから、道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態であるため(健全度Ⅲ)とした。																															

点検調書(その2) 径間別一般図径間番号1

起点側

緯度	35° 27' 6.000"
經度	136° 11' 46.177"

終点側

緯度	35° 27' 6.057"
經度	136° 11' 46.276"

橋梁ID

フリガナ  
橋 梁 名

ノダハシ  
野田橋

路線名

東尾上石川線管轄

橋梁コード

BR0-252034-00622所在地

自 滋賀県長浜市湖北町津里

## 距離標

自

調書更新年月

2019年1月10日

至 滋賀県長浜市湖北町津里

至






点検調査(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側         緯度 35° 27' 6.000"         経度 136° 11' 46.177"		終点側         緯度 35° 27' 6.057"         経度 136° 11' 46.276"		橋梁ID						
フリガナ 橋梁名		カタハシ 野田橋		路線名		東尾上石川線				橋梁コード		BR0-252034-00622					
所在地		自		滋賀県長浜市湖北町津里		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2019年1月10日	
		至		滋賀県長浜市湖北町津里				至									

現 地 状 況 写 真	写真番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		2		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		正面		<div>  </div>		<div>             起点より終点を望む           </div>		写真説明		橋面		<div>  </div>		<div>             起点より終点を望む           </div>	
	写真番号		3		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		4		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		側面		<div>  </div>		<div>             上流側より撮影 (起点左側)           </div>		写真説明		側面		<div>  </div>		<div>             下流側より撮影 (起点右側)           </div>	

点検調書(その3) 現地状況写真	径間番号	1	起点側	緯度 経度	35° 27' 6.000" 136° 11' 46.177"	終点側	緯度 経度	35° 27' 6.057" 136° 11' 46.276"	橋梁ID	
------------------	------	---	-----	----------	------------------------------------	-----	----------	------------------------------------	------	--

フリガナ 橋 梁 名	ノダハシ 野田橋		路 線 名	東尾上石川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-00622	
所 在 地	自	滋賀県長浜市湖北町津里	距 離 標	自				調書更新年月日	2019年1月10日	
	至	滋賀県長浜市湖北町津里		至						

現 地 状 況 写 真	写真番号	5	撮影年月日	2018年9月7日	写真番号	6	撮影年月日	2018年9月7日
	径間番号	1	メ      モ		径間番号	1	メ      モ	
	写真説明	桁下		起点より終点を望む	写真説明	縦壁(側壁)		側壁01
								
	写真番号	7	撮影年月日	2018年9月7日	写真番号	8	撮影年月日	2018年9月7日
	径間番号	1	メ      モ		径間番号	1	メ      モ	
	写真説明	縦壁(側壁)		側壁02	写真説明	防護柵		左側
								



点検調書(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側         緯度 35° 27' 6.000" 経度 136° 11' 46.177"		終点側         緯度 35° 27' 6.057" 経度 136° 11' 46.276"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		カタハシ 野田橋		路線名		東尾上石川線				橋梁コード		BR0-252034-00622				
所在地		自 滋賀県長浜市湖北町津里		距離標		自		管轄		調書更新年月日		2019年1月10日				
		至 滋賀県長浜市湖北町津里				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		9		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		10		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		防護柵		右側				写真説明		添架物					
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	径間番号				メ		モ		径間番号				メ		モ	
写真説明								写真説明								

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 27' 6.000"	終点側	緯度	35° 27' 6.057"	橋梁ID	
				経度	136° 11' 46.177"		経度	136° 11' 46.276"		

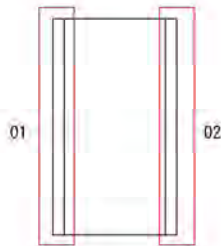
フリガナ 橋 梁 名	ノダハシ 野田橋		路 線 名	東尾上石川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-00622
所 在 地	自	滋賀県長浜市湖北町津里	距 離 標	自				調書更新年月日	2019年1月10日
	至	滋賀県長浜市湖北町津里		至					

【部材番号】

主桁(頂版(Mg))



横桁(縦壁(Ac))



下部工(底板(Fx))



舗装(Pm)



地覆(Fg)



防護柵(Gf)



添架物(Ut)



要素番号図及び部材番号図

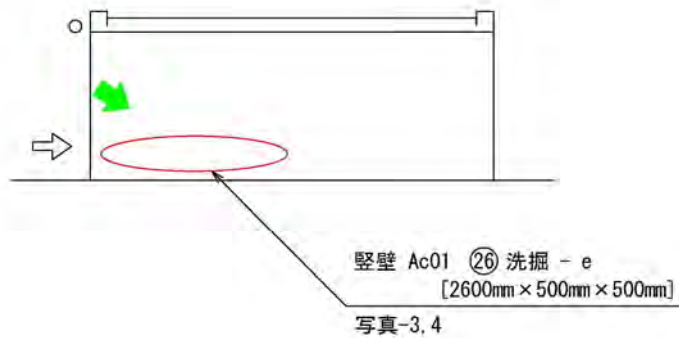
フリガナ 橋 梁 名	カタハシ 野田橋		路 線 名	東尾上石川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-00622
所 在 地	自	滋賀県長浜市湖北町津里	距 離 標	自				調書更新年月日	2019年1月10日
	至	滋賀県長浜市湖北町津里		至				最新点検年月日	2018年9月7日

損  
傷  
図

フリガナ 橋 梁 名	ﾀﾞﾊｼ 野田橋		路 線 名	東尾上石川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-00622
所 在 地	自	滋賀県長浜市湖北町津里	距 離 標	自				調書更新年月日	2019年1月10日
	至	滋賀県長浜市湖北町津里		至				最新点検年月日	2018年9月7日

【豎壁(側壁)】

【側壁01】





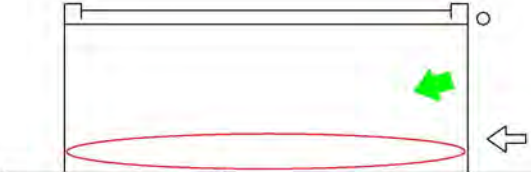
点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 27' 6.000"	終点側	緯度	35° 27' 6.057"	橋梁ID
				経度	136° 11' 46.177"		経度	136° 11' 46.276"	

フリガナ 橋 梁 名	ノダハシ 野田橋		路 線 名	東尾上石川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-00622
所 在 地	自	滋賀県長浜市湖北町津里	距 離 標	自				調書更新年月日	2019年1月10日
	至	滋賀県長浜市湖北町津里		至				最新点検年月日	2018年9月7日

損傷圖

**【豎壁（側壁）】**

【側壁02】







竖壁 Ac02 ②6 洗掘 - e  
[4000mm × 500mm × 100mm]

写真-5, 6





点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 27' 6.000"		終点側		緯度		35° 27' 6.057"		橋梁ID							
										経度		136° 11' 46.177"				経度		136° 11' 46.276"									
フリガナ 橋 梁 名		ノダハシ 野田橋				路 線 名		東尾上石川線										橋梁コード		BR0-252034-00622							
所 在 地		自		滋賀県長浜市湖北町津里				距 離 標		自						管 轄						調書更新年月日		2019年1月10日			
		至		滋賀県長浜市湖北町津里						至												最新点検年月日		2018年9月7日			
損 傷 写 真	写真番号		5		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		6		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日				
	部材名		横桁(側壁)		部材番号		02		メ		モ		部材名		横桁(側壁)		部材番号		02		メ		モ				
	損傷の種類		洗掘		損傷程度		c		側壁に洗掘が見られる。				損傷の種類		洗掘		損傷程度		c		写真5の近接写真						
									【4000mm×500mm×100mm】												【4000mm×500mm×100mm】						
	写真番号		7		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		8		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日				
	部材名		防護柵		部材番号		01		メ		モ		部材名		防護柵		部材番号		02		メ		モ				
損傷の種類		腐食		損傷程度		b		防護柵に、腐食および防食機能の劣化が見られる。錆は表面的であり著しい板厚減少は視認できない。				損傷の種類				腐食		損傷程度		b		防護柵に、腐食および防食機能の劣化が見られる。錆は表面的であり著しい板厚減少は視認できない。					
								【損傷程度】小・小				【その他損傷】 防護柵 Gf01 防食機能の劣化-e 分類 1												【損傷程度】小・小			
																				【その他損傷】 防護柵 Gf02 防食機能の劣化-e 分類 1							



点検調書(その6) 損傷写真				径間番号		1		起点側 緯度 35° 27' 6.000" 経度 136° 11' 46.177"		終点側 緯度 35° 27' 6.057" 経度 136° 11' 46.276"		橋梁ID			
----------------	--	--	--	------	--	---	--	---	--	---	--	------	--	--	--

フリガナ 橋梁名		ノダハシ 野田橋		路線名		東尾上石川線						橋梁コード		BR0-252034-00622			
所在地		自		滋賀県長浜市湖北町津里		距離標		自				管轄		調書更新年月日		2019年1月10日	
		至		滋賀県長浜市湖北町津里				至						最新点検年月日		2018年9月7日	

損傷写真	写真番号	9		径間番号	1		撮影年月日	2018年9月7日		写真番号	10		径間番号	1		撮影年月日	2018年9月7日				
	部材名	地覆		部材番号	01		メ		モ		部材名	添架物		部材番号	01		メ		モ		
	損傷の種類	変形・欠損		損傷程度	c		地覆の一部が欠損している。				損傷の種類	腐食		損傷程度	c		添架物に、腐食および防食機能の劣化が見られる。錆は表面的であり著しい板厚減少は視認できないが、全体的に錆が発生している。				
							【100mm×100mm】										【損傷程度】小・大				
																	【その他損傷】 添架物 Ut01 防食機能の劣化-e 分類 1				
	写真番号			径間番号			撮影年月日					写真番号			径間番号			撮影年月日			
	部材名			部材番号			メ		モ				部材名			部材番号			メ		モ
損傷の種類			損傷程度									損傷の種類			損傷程度						

点検調書(その9) 損傷程度の評価結果総括	径間番号	1	起点側	緯度	35° 27' 6.000"	終点側	緯度	35° 27' 6.057"	橋梁ID
				経度	136° 11' 46.177"		経度	136° 11' 46.276"	

フリガナ 橋 梁 名	ﾀﾞﾊｼ 野田橋		路 線 名	東尾上石川線		管 轄		橋 梁 コー ド	BR0-252034-00622
所 在 地	自	滋賀県長浜市湖北町津里	距 離 標	自				調書更新年月日	2019年1月10日
	至	滋賀県長浜市湖北町津里		至				最新点検年月日	2018年9月7日

[illegible]

起点側	緯度	35° 27' 6.000"	終点側	緯度	35° 27' 6.057"	橋梁ID
	經度	136° 11' 46.177"		經度	136° 11' 46.276"	

[illegible]





橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 26′ 5.89″	
				経度	136° 17′ 37.73″	
八島2号橋 (フリガナ)ヤシマ2ゴウハシ	八島・田川線	滋賀県長浜市八島町				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長浜市	2018.9.7	河川:普通河川	有	一般道	その他	なし



部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者		点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	写真1 主桁02			
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅲ	洗掘	写真2 縦壁02			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		点検時に記録	措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)	
Ⅲ	下部工の洗掘において、橋梁構造の安全性の観点から早急な対応が必要な状態であるため(健全度Ⅲ)とした。			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1979年	5m	6.20m
<div>起点</div> <div></div> <div>終点</div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)  
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。  
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分：Ⅱ】		下部構造【判定区分：Ⅲ】	
<div>写真1 主桁02 剥離・鉄筋露出</div> 		<div>写真2 堅壁02 洗掘</div> 	
【判定区分：】		【判定区分：】	

点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果					起点側		緯度		35° 26′ 5.885″		終点側		緯度		35° 26′ 5.940″		橋梁ID							
					経度		136° 17′ 37.734″				経度		136° 17′ 37.517″											
フリガナ 橋 梁 名		ヤシマ2ゴウハン 八島2号橋			路 線 名		八島・田川線			管 轄						橋梁コード		BR0-252034-01137						
所 在 地		自 滋賀県長浜市八島町			距 離 標		自									調書更新年月日		2019年2月28日						
		至 滋賀県長浜市八島町					至									最新点検年月日		2018年9月7日						
供用開始日		1979年		橋長	5.32m	活荷重・等級		不明			適用示方書		昭和53年 道路橋示方書						交通条件		調 査 年			
上部構造形式		RC T桁			幅員	全 幅 員		6.20m	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線		車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	交 通 量			台			
						有 効 幅 員		5.60m	0.30m		5.60m	1				0.30m						昼間12時間		
下部構造形式		重力式橋台2基			備考		梯子使用														大型混入率		%	
基礎形式		直接基礎																			荷 重 制 限		t	
総合検査結果																								
【橋梁の特徴】																								
・供用歴は36年程度であり、4主桁のRC T桁を主構とした1径間の構造である。																								
・有効幅員は(W=5.6m)、通過交通量は少ない。																								
【損傷の総合評価】																								
・上部工:主桁および横桁に鉄筋露出が見られる。露出範囲がは広く、腐食が進展すれば耐荷力への影響が懸念されるため、予防保全の観点から補修が必要である。																								
・下部工:縦壁下部に流水等による洗掘が見られる。橋台全幅に生じており、橋梁構造の安全性の観点から早急な対応が必要である。																								
・支保工:今回の点検では視認される損傷はなく概ね健全である。																								
・路上施設:舗装全体に蜘蛛の巣状のひびわれが見られ、上部工内部への水分の供給源となるため、状況に応じた補修が望ましい。																								
【健全度】																								
・下部工の洗掘において、橋梁構造の安全性の観点から早急な対応が必要な状態であるため(健全度Ⅲ)とした。																								

フリガナ 橋 梁 名	ヤシマ2ゴウハン 八島2号橋		路 線 名	八島・田川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-01137
所 在 地	自	滋賀県長浜市八島町	距 離 標	自				調書更新年月日	2019年2月28日
	至	滋賀県長浜市八島町		至					

全体図	
一般図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>側面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>平面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>桁下面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>断面</p> </div> </div>

点検調査(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側         緯度 35° 26' 5.885"         経度 136° 17' 37.734"		終点側         緯度 35° 26' 5.940"         経度 136° 17' 37.517"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		ヤシマ2コウハン 八島2号橋		路線名		八島・田川線				橋梁コード		BR0-252034-01137				
所在地		自 滋賀県長浜市八島町		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2019年2月28日		
		至 滋賀県長浜市八島町				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		2		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		正面				起点より終点を望む		写真説明		橋面				起点より終点を望む	
	写真番号		3		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		4		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		側面				上流側より撮影 (起点左側)		写真説明		側面				下流側より撮影 (起点右側)	



点検調査(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側         緯度 35° 26' 5.885"         経度 136° 17' 37.734"		終点側         緯度 35° 26' 5.940"         経度 136° 17' 37.517"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		ヤシマ2ゴウハン 八島2号橋		路線名		八島・田川線				橋梁コード		BR0-252034-01137				
所在地		自 滋賀県長浜市八島町		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2019年2月28日		
		至 滋賀県長浜市八島町				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		5		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		6		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		桁下				起点より終点を望む		写真説明		橋台				A1橋台	
	写真番号		7		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		8		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
写真説明		橋台				A2橋台		写真説明		支承						

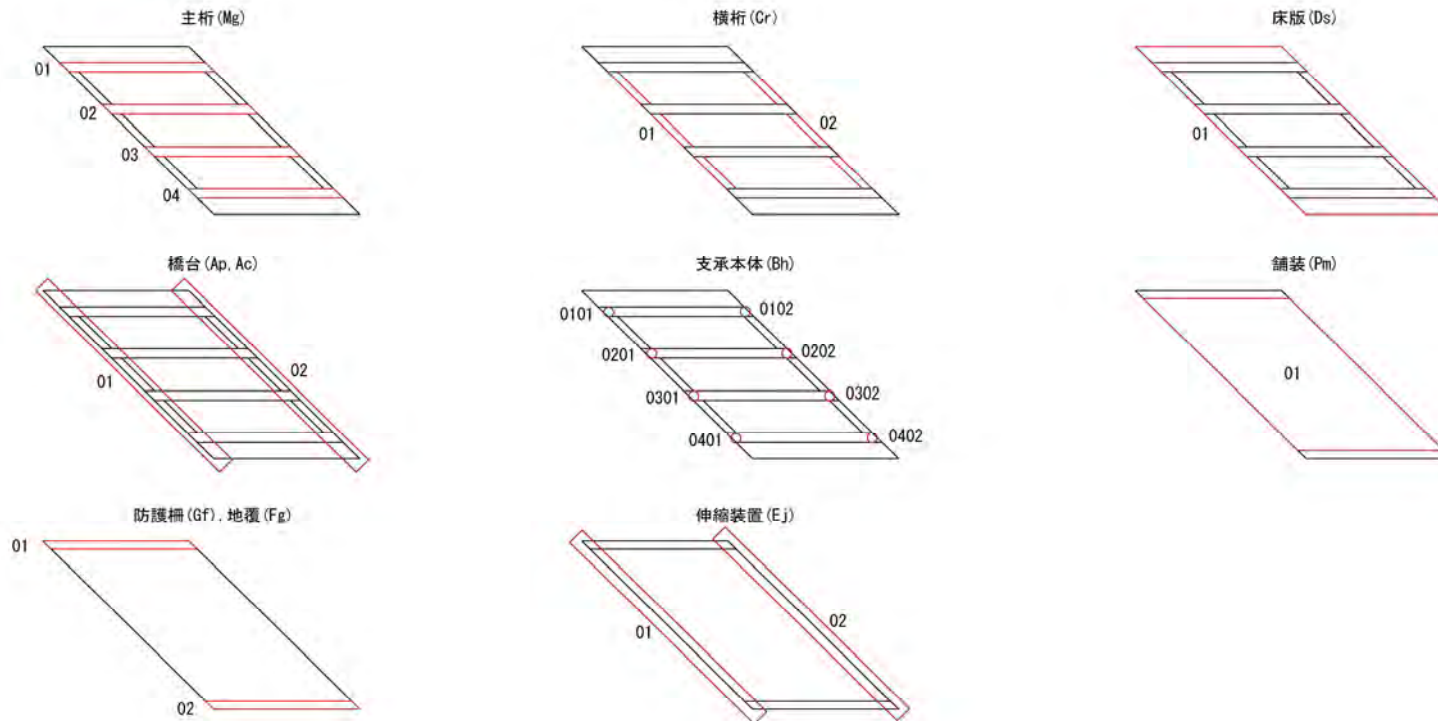
点検調査(その3) 現地状況写真			径間番号		1		起点側         緯度 35° 26' 5.885"         経度 136° 17' 37.734"		終点側         緯度 35° 26' 5.940"         経度 136° 17' 37.517"		橋梁ID					
フリガナ 橋梁名		ヤマ2ゴウハン 八島2号橋		路線名		八島・田川線				橋梁コード		BR0-252034-01137				
所在地		自 滋賀県長浜市八島町		距離標		自		管轄				調書更新年月日		2019年2月28日		
		至 滋賀県長浜市八島町				至										
現 地 状 況 写 真	写真番号		9		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		10		撮影年月日		2018年9月7日	
	径間番号		1		メ		モ		径間番号		1		メ		モ	
	写真説明		防護柵		左側				写真説明		防護柵		右側			
	写真番号				撮影年月日				写真番号				撮影年月日			
	径間番号				メ		モ		径間番号				メ		モ	
	写真説明								写真説明							

点検調書(その4) 要素番号図及び部材番号図			径 間 番 号	1	起点側		緯度	35° 26' 5.885"	終点側		緯度	35° 26' 5.940"	橋梁ID	
							経度	136° 17' 37.734"			経度	136° 17' 37.517"		

フリガナ 橋 梁 名		ヤシマ2ゴウハシ 八島2号橋		路 線 名		八島・田川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-01137
所 在 地	自	滋賀県長浜市八島町		距 離 標	自				調書更新年月日	2019年2月28日	
	至	滋賀県長浜市八島町			至						

# 【部材番号】

要素番号図及び部材番号図

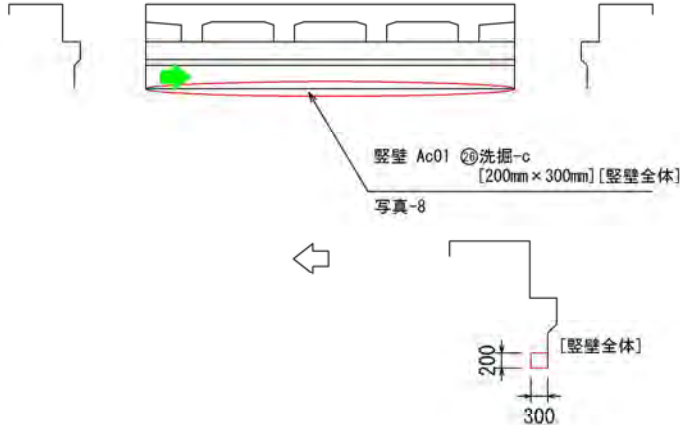
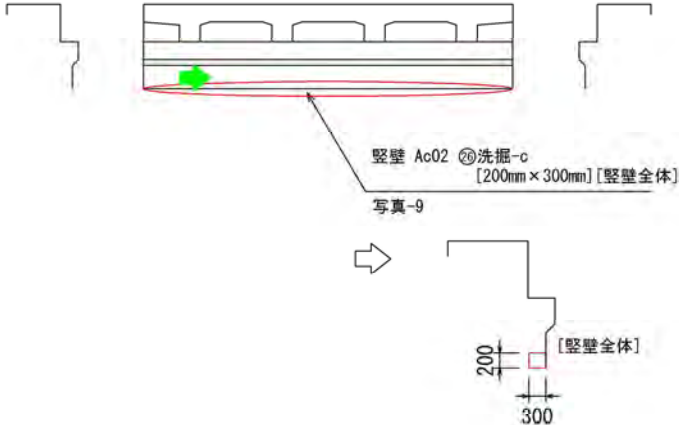


点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 26' 5.885"	終点側	緯度	35° 26' 5.940"	橋梁ID	
				経度	136° 17' 37.734"		経度	136° 17' 37.517"		

フリガナ 橋梁名	ヤシマ2ゴウハン 八島2号橋		路線名	八島・田川線		管轄		橋梁コード	BR0-252034-01137
所在地	自	滋賀県長浜市八島町	距離標	自				調書更新年月日	2019年2月28日
	至	滋賀県長浜市八島町		至				最新点検年月日	2018年9月7日

損傷図	<div data-bbox="477 611 1601 1292"> <p>【桁下】</p> <p>主桁 Mg01 ⑦剝離・鉄筋露出-d [800mm × 400mm] [100mm × 100mm, N=3] 写真-1</p> <p>横桁 Cr02 ⑦剝離・鉄筋露出-d [100mm × 100mm] 写真-7</p> <p>主桁 Mg02 ⑦剝離・鉄筋露出-d [1300mm × 200mm] [1400mm × 200mm] 写真-2, 11</p> <p>主桁 Mg03 ⑦剝離・鉄筋露出-c [1000mm × 100mm] 写真-3</p> <p>横桁 Cr01 損傷なし 写真-6</p> <p>床版 Ds0i 損傷なし 写真-5</p> <p>主桁 Mg04 ⑦剝離・鉄筋露出-c [500mm × 100mm] 写真-4</p> <p>① ②</p> <p>↓</p> </div>	

点検調書(その5) 損傷図			径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 26′ 5.885″		終点側		緯度	35° 26′ 5.940″		橋梁ID	
									経度	136° 17′ 37.734″				経度	136° 17′ 37.517″			
フリガナ 橋 梁 名	ヤマ2ゴウハン 八島2号橋			路 線 名		八島・田川線			管 轄				橋梁コード			BR0-252034-01137		
所 在 地	自	滋賀県長浜市八島町		距 離 標	自						調書更新年月日			2019年2月28日				
	至	滋賀県長浜市八島町			至						最新点検年月日			2018年9月7日				



損 傷 図												
	<div>【A1橋台】</div> <div></div>						<div>【A2橋台】</div> <div></div>					







点検調書(その5) 損傷図	径間番号	1	起点側	緯度	35° 26' 5.885"	終点側	緯度	35° 26' 5.940"	橋梁ID
				経度	136° 17' 37.734"		経度	136° 17' 37.517"	

フリガナ 橋 梁 名	ヤシマ2コウハシ 八島2号橋		路 線 名	八島・田川線		管 轄		橋梁コード	BR0-252034-01137
所 在 地	自	滋賀県長浜市八島町	距 離 標	自				調査更新年月日	2019年2月28日
	至	滋賀県長浜市八島町		至				最新点検年月日	2018年9月7日

損傷図

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 26′ 5.885″ 経度 136° 17′ 37.734″		終点側		緯度 35° 26′ 5.940″ 経度 136° 17′ 37.517″		橋梁ID								
フリガナ 橋 梁 名		ヤシマ2コウハン 八島2号橋			路 線 名		八島・田川線							橋梁コード		BR0-252034-01137								
所 在 地		自 滋賀県長浜市八島町			距 離 標		自				管 轄				調書更新年月日		2019年2月28日							
		至 滋賀県長浜市八島町					至						最新点検年月日		2018年9月7日									
損 傷 写 真	写真番号		1		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		2		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日	
	部材名		主桁		部材番号		01		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		02		メ		モ	
	損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		d		主桁に鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		d		主桁に鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。			
									【800mm×400mm】 【100mm×100mm,N=3】										【1300mm×200mm】 【1400mm×200mm】					
	写真番号		3		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		4		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日	
	部材名		主桁		部材番号		03		メ		モ		部材名		主桁		部材番号		04		メ		モ	
損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		c		主桁に剥離が生じているが、鉄筋の露出は見られない。				損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		c		主桁に剥離が生じているが、鉄筋の露出は見られない。				
								【1000mm×100mm】										【500mm×100mm】						

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 26′ 5.885″ 経度 136° 17′ 37.734″		終点側		緯度 35° 26′ 5.940″ 経度 136° 17′ 37.517″		橋梁ID								
フリガナ 橋 梁 名		ヤシマ2コウハン 八島2号橋				路 線 名		八島・田川線						橋梁コード				BR0-252034-01137						
所 在 地		自		滋賀県長浜市八島町				距 離 標		自						調書更新年月日		2019年2月28日						
		至		滋賀県長浜市八島町						至						最新点検年月日		2018年9月7日						
損 傷 写 真	写真番号		5		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		6		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日	
	部材名		床版		部材番号		01		メ		モ		部材名		横桁		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類				損傷程度		a		損傷なし				損傷の種類				損傷程度		a		損傷なし			
																								
	写真番号		7		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号		8		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日	
	部材名		横桁		部材番号		02		メ		モ		部材名		下部工(縦壁)		部材番号		01		メ		モ	
	損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		d		横桁に鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。 【100mm×100mm】				損傷の種類		洗掘		損傷程度		c		縦壁に洗掘が見られる。 【200mm×300mm】 【縦壁全体】			
																								

点検調書(その6) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度 35° 26′ 5.885″ 経度 136° 17′ 37.734″		終点側		緯度 35° 26′ 5.940″ 経度 136° 17′ 37.517″		橋梁ID									
フリガナ 橋 梁 名		ヤシマ2ゴウハン 八島2号橋				路 線 名		八島・田川線				管 轄		橋梁コード				BR0-252034-01137							
所 在 地		自 滋賀県長浜市八島町				距 離 標		自						調書更新年月日		2019年2月28日									
		至 滋賀県長浜市八島町						至										最新点検年月日		2018年9月7日					
写真番号		9		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号						10		径間番号		1		撮影年月日	
部材名		下部工(堅壁)		部材番号		02		メ      モ				部材名		舗装		部材番号		01		メ      モ					
損傷の種類		洗掘		損傷程度		c		堅壁に洗掘が見られる。  【200mm×300mm】 【堅壁全体】				損傷の種類		舗装の異常		損傷程度		c		舗装全体に5mm程度未満の蜘蛛の巣状のひびわれが見られる。					
損 傷 写 真																									
		写真番号		11		径間番号		1		撮影年月日		2018年9月7日		写真番号				径間番号				撮影年月日			
		部材名		主桁		部材番号		02		メ      モ				部材名				部材番号				メ      モ			
		損傷の種類		剥離・鉄筋露出		損傷程度		d		写真2の防錆処理後				損傷の種類				損傷程度							
																									





点検調書(その10) 対策区分判定結果 (主要部材)						径 間 番 号		1		起点側		緯度	35° 26′ 5.885″		終点側	緯度	35° 26′ 5.940″		橋梁ID	
										経度		136° 17′ 37.734″		経度		136° 17′ 37.517″				
フリガナ 橋 梁 名		ヤシマ2ゴウハシ 八島2号橋				路 線 名		八島・田川線			管 轄					橋 梁 コー ド		BR0-252034-01137		
所 在 地	自	滋賀県長浜市八島町				距 離 標	自									調書更新年月日		2019年2月28日		
	至	滋賀県長浜市八島町					至									最新点検年月日		2018年9月7日		
工 種	材 料	部材種別			損傷の程度		対策区分								原 因		健全度 (部材単位)	所 見		
		名 称	記 号	部材 番号	最大	最小	補修等の必要性			維持工事で 対応する必要性	緊急対応の必要性			詳細調査の 必要性						
							区分B の損傷	区分Cの損傷			区分M の損傷	区分Eの損傷		区分S1 の損傷	区分S2 の損傷	確 定			推 定	
								区分C1 の損傷	区分C2 の損傷			更 新	区分E1 の損傷							更 新
S	C	主桁	Mg	01	d	d		剥離・鉄 筋露出										⑦その他 (製作、施工 不良)	Ⅱ	鉄筋のかぶり不足による鉄筋露出で あり腐食は軽微であるが、露出範囲 がは広く、腐食が進展すれば耐荷力 への影響が懸念されるため、予防保 全の観点から補修が必要である。写 真1
S	C	主桁	Mg	02	d	d		剥離・鉄 筋露出										⑦その他 (製作、施工 不良)	Ⅱ	鉄筋のかぶり不足による鉄筋露出で あり腐食は軽微であるが、露出範囲 がは広く、腐食が進展すれば耐荷力 への影響が懸念されるため、予防保 全の観点から補修が必要である。写 真2,11
S	C	主桁	Mg	03	c	c	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	主桁に剥離が生じているが鉄筋の 露出は見られない。直ちに構造物の 安全性が損なわれることはないと言 断できるため、状況に応じた補修が 望ましい。写真3
S	C	主桁	Mg	04	c	c	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	主桁に剥離が生じているが鉄筋の 露出は見られない。直ちに構造物の 安全性が損なわれることはないと言 断できるため、状況に応じた補修が 望ましい。写真4
S	C	横桁	Cr	02	d	d	剥離・鉄 筋露出											⑦その他 (製作、施工 不良)	I	鉄筋腐食は軽微で局所的であること から、直ちに構造物の安全が損なわ れることはないと言断できるため、状 況に応じた補修が望ましい。写真7
A	C	下部工 (堅壁)	Ac	01	c	c			洗掘									⑦その他 (製作、施工 不良)	Ⅲ	堅壁下部が洗掘されている。橋台全 幅に生じており、橋梁構造の安全性 の観点から早急な対応が必要であ る。写真8



